

王寺町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成31年3月
王寺町

第1章 計画策定について	
1. 背景	4
2. 計画期間	4
3. 基本方針	5
4. データヘルス計画の位置づけ	6
5. 実施体制・関係者連携	6
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	7
(1) 被保険者数の推移	7
(2) 被保険者数の推計	8
(3) 医療費等の状況	9
(4) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	13
① 特定健康診査の実施状況	13
② 特定保健指導の実施状況	14
(5) 介護保険の状況	15
(6) 主たる死因の状況	19
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	21
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	21
(2) 重症化予防指導事業における一人当たり医療費の推移	23
3. 医療情報分析結果	24
(1) 基礎統計	24
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	26
① 高額レセプトの件数及び割合	26
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	28
(3) 疾病別医療費	32
① 大分類による疾病別医療費統計	32
② 中分類による疾病別医療費統計	37
(4) 生活習慣病に係る医療費	50
(5) 生活習慣病患者の特定健診受診状況別罹患状況と医療費	53
(6) 人工透析に係る分析	54
4. 分析結果に基づく健康課題の把握	55
(1) 分析結果	55
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	61
第3章 保健事業実施計画	
1. 各事業の目的と概要一覧	63
2. 各事業の実施内容と評価方法	65
(1) 特定健診・特定保健指導事業	65
(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業（イエローカード）	66
(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業	67
(4) 糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業	68
(5) 調剤費適正化事業【新規】	70

第4章 その他		
1. データヘルス計画の見直し		71
(1) 評価		71
(2) 評価時期		71
2. 計画の公表・周知		71
3. 個人情報の取り扱い		71
4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項		71
参考資料1. 用語解説集		72
参考資料2. 疾病分類表(2013年度版)		73

第1章 計画策定について

1. 背景

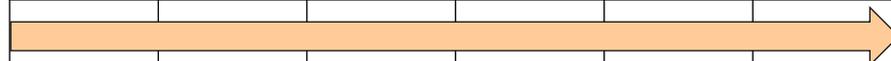
「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととあります。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、2018年度(平成30年度)から2023年度の6年間とします。

■ 計画期間

2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					

3. 基本方針

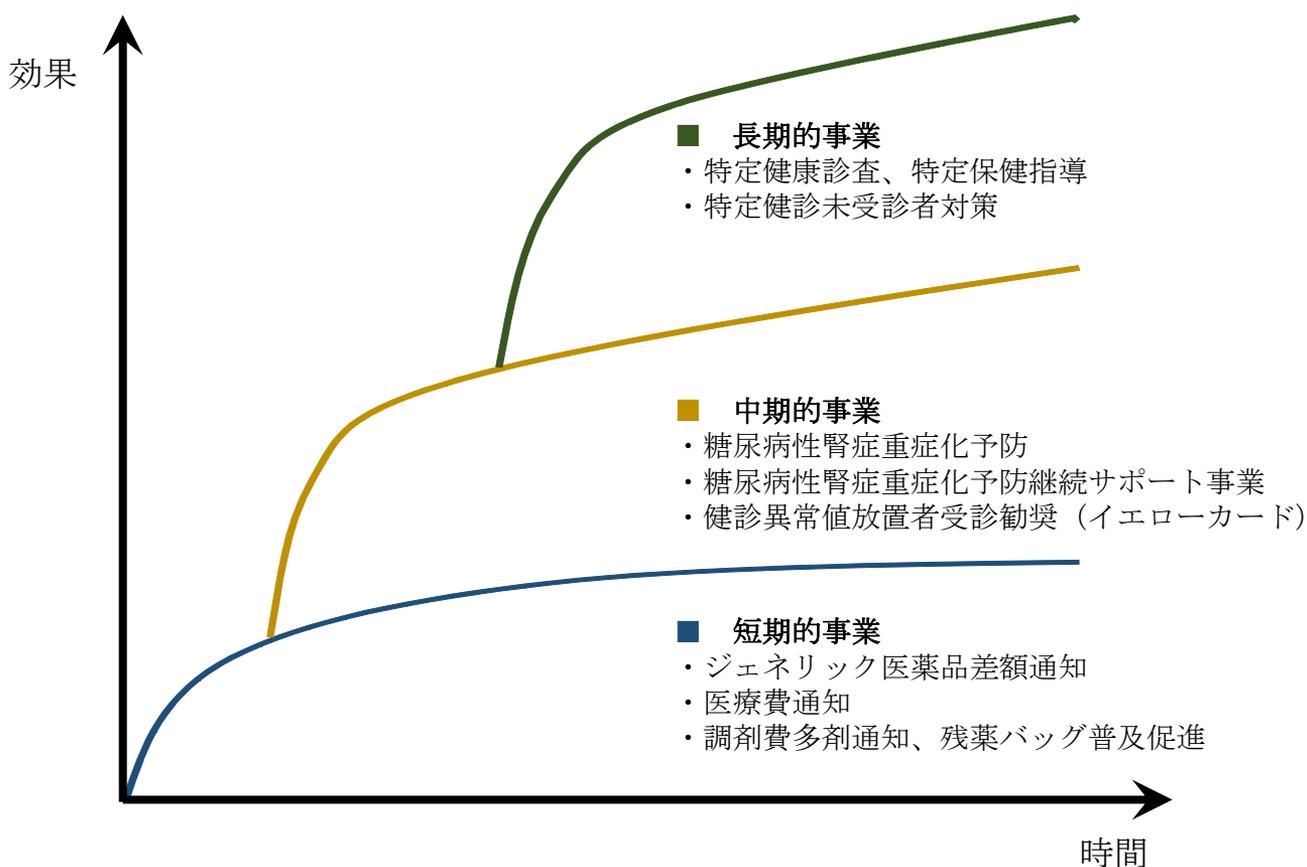
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画します。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載します。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

事業には、即効性が大きい反面、効果額が小さい短期的事業と、即効性は小さい反面将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これら事業を王寺町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施します。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「奈良県健康増進計画」及び「王寺町健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要があります。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、保健センターと共同で事業を推進します。また、奈良県国民健康保険団体連合会の「保健事業支援・評価委員会」に助言を求めるなど連携を図っていきます。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成27年度～平成29年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成25年度…平成25年4月～平成26年3月診療分(12カ月分)
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成25年度…平成25年4月～平成26年3月健診分(12カ月分)
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 被保険者数の推移

国民健康保険被保険者数は、短時間労働者への社会保険の適用拡大や75歳になって後期高齢者医療保険に加入するなどにより、年々減少しており、過去3年間で416人の減、△7.7%となっています。しかし、70歳～74歳は以前増加傾向にあります。

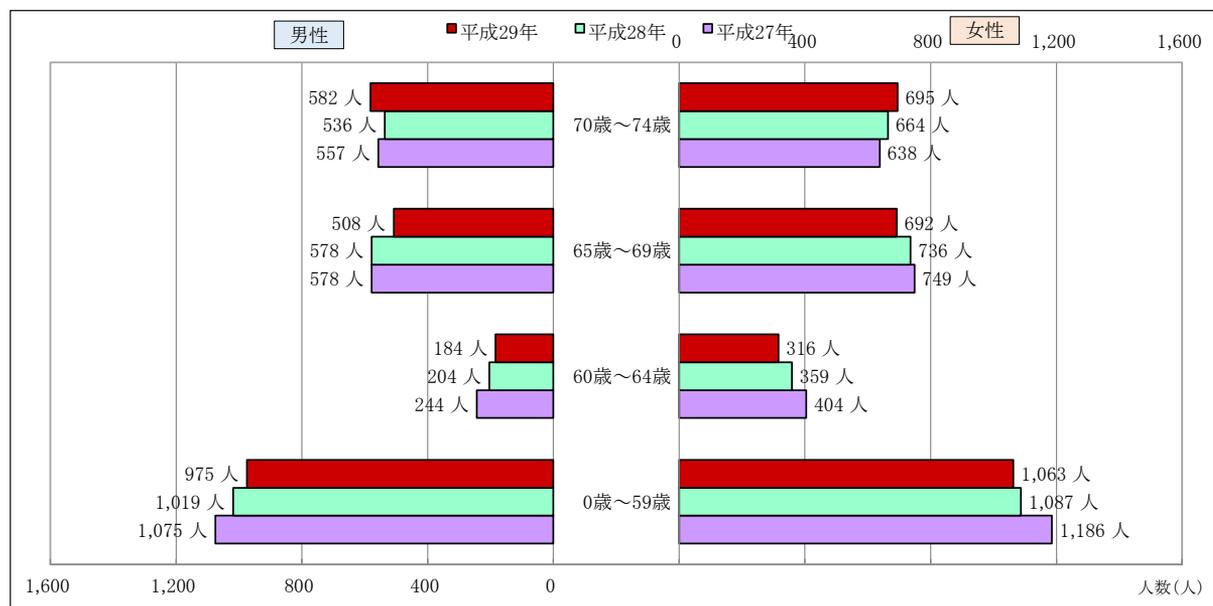
被保険者数の推移（H27年度～H29年度）

（単位：人）

年齢階級	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
0歳～59歳	1,075	1,186	2,261	1,019	1,087	2,106	975	1,063	2,038
0歳～9歳	104	105	209	97	102	199	106	102	208
10歳～19歳	116	141	257	119	138	257	113	124	237
20歳～29歳	170	187	357	158	159	317	143	169	312
30歳～39歳	198	203	401	177	193	370	167	176	343
40歳～49歳	266	246	512	259	219	478	250	218	468
50歳～59歳	221	304	525	209	276	485	196	274	470
60歳～64歳	244	404	648	204	359	563	184	316	500
65歳～69歳	578	749	1,327	578	736	1,314	508	692	1,200
70歳～74歳	557	638	1,195	536	664	1,200	582	695	1,277
合計	2,454	2,977	5,431	2,337	2,846	5,183	2,249	2,766	5,015

※王寺町「被保険者データ」より 各年、年度末時点の年齢により集計

男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド（H27年度～H29年度）



※王寺町「被保険者データ」より。各年、年度末時点の年齢により集計

(2) 被保険者数の推計

今後、国民健康保険被保険者数は、団塊の世代（1947年から1949年生まれの被保険者）が75歳となり、後期高齢者医療保険に加入となるため年々減少し、2024年度では、4,547人となると予想しています。

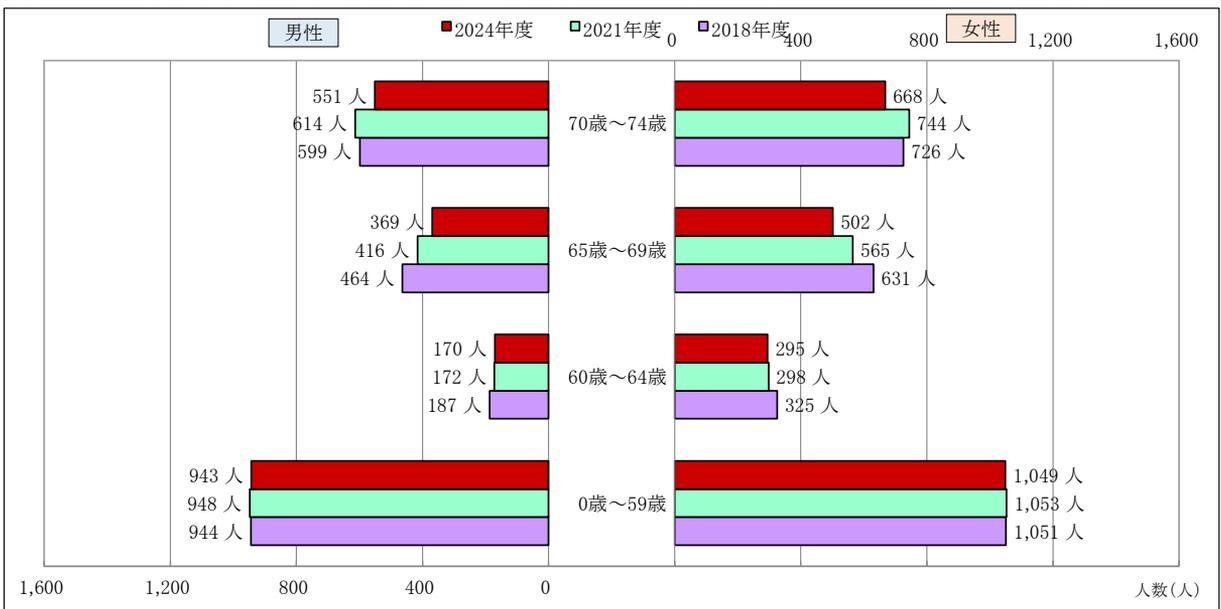
被保険者数推計

(単位：人)

年齢階級	2018年度			2021年度			2024年度		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
0歳～59歳	944	1,051	1,995	948	1,053	2,001	943	1,049	1,992
0歳～9歳	97	92	189	101	96	197	100	95	195
10歳～19歳	114	119	233	115	119	234	121	126	247
20歳～29歳	144	170	314	139	163	302	132	155	287
30歳～39歳	141	170	311	133	160	293	119	143	262
40歳～49歳	246	217	463	249	221	470	242	214	456
50歳～59歳	202	283	485	211	294	505	229	316	545
60歳～64歳	187	325	512	172	298	470	170	295	465
65歳～69歳	464	631	1,095	416	565	981	369	502	871
70歳～74歳	599	726	1,325	614	744	1,358	551	668	1,219
合計	2,194	2,733	4,927	2,150	2,660	4,810	2,033	2,514	4,547

※王寺町人口ビジョンから推計 平成30年9月末の人口に対する国保加入率から推計
2021年度は、計画の中間年、2024年度は、県内保険料（税）統一年度

男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド（2018・2021・2024年度）



※王寺町人口ビジョンから推計 平成30年9月末の人口に対する国保加入率から推計
2021年度は、計画の中間年、2024年度は、県内保険料（税）統一年度

(3) 医療費等の状況

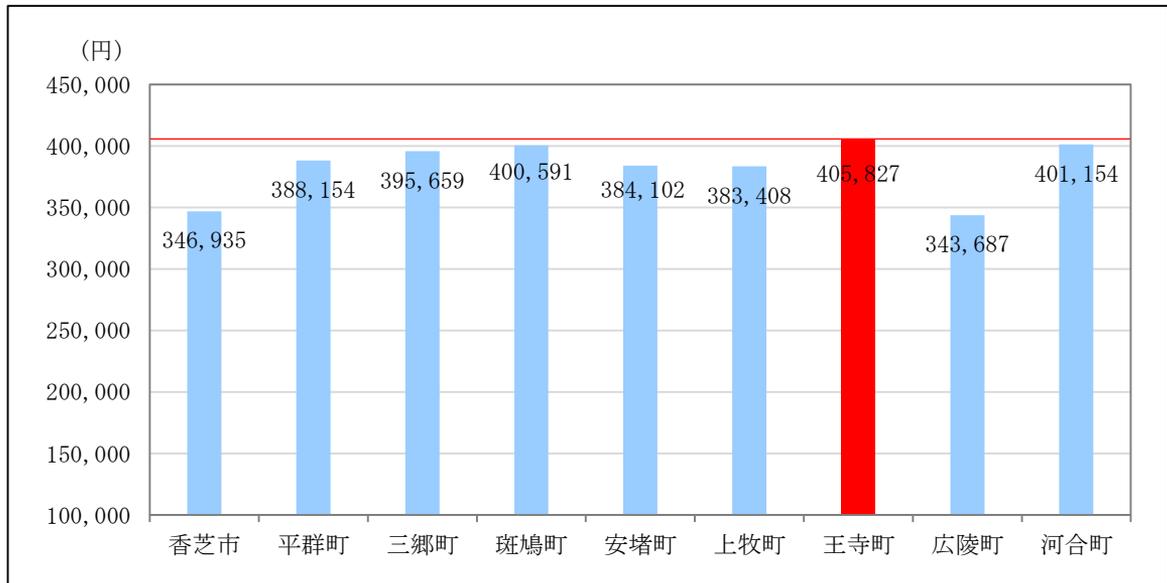
以下は、本町の平成29年度における、医療基礎情報を示したものです。

医療基礎情報(平成29年度)

医療項目	王寺町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.3
診療所数	5.3	3.6	2.6	3.1
病床数	20.5	50.9	46.4	48.8
医師数	7.2	9.6	7.8	9.7
外来患者数	774.1	702.0	701.8	675.5
入院患者数	20.7	18.8	20.0	18.5
受診率	794.8	720.8	721.8	694.0
一件当たり医療費(円)	37,000	35,810	36,690	36,040
一般(円)	37,050	35,810	36,640	36,000
退職(円)	33,600	36,230	39,840	38,910
外来				
外来費用の割合	60.2%	59.8%	59.0%	59.9%
外来受診率	774.1	702.0	701.8	675.5
一件当たり医療費(円)	22,860	22,000	22,250	22,170
一人当たり医療費(円)	17,700	15,450	15,620	14,980
一日当たり医療費(円)	14,350	14,470	14,360	14,280
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	39.8%	40.2%	41.0%	40.1%
入院率	20.7	18.8	20.0	18.5
一件当たり医療費(円)	564,630	551,880	543,030	542,190
一人当たり医療費(円)	11,710	10,370	10,870	10,030
一日当たり医療費(円)	38,410	37,410	34,180	34,630
一件当たり在院日数	14.7	14.8	15.9	15.7

県内近隣9市町の平成29年度被保険者一人当たりの医療費の比較を行ったところ、本町が405,827円で一番医療費が高くなっていました。

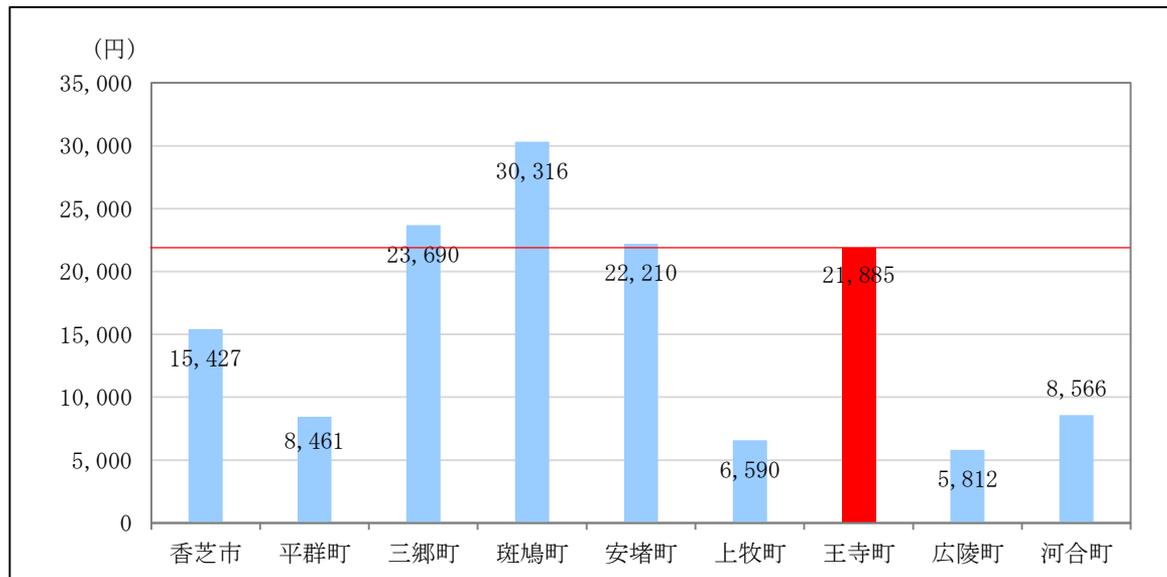
平成29年度県内9市町の被保険者一人当たり医療費の比較



出典：事業年報

平成27年度から平成29年度までの被保険者一人当たりの医療費増加額を比較したところ、本町は21,885円で9市町の中で4位でした。

平成27年度から平成29年度までの被保険者一人当たりの医療費増加額



出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から29年度の被保険者一人当たりの医療費順で並べたところ、本町が1位または2位である傾向が続いていることがわかりました。

県内9市町の被保険者一人当たり医療費と順位（平成27年度～平成29年度）

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	331,508	9	335,608	9	346,935	8	1	河合町	河合町	王寺町
平群町	379,693	3	376,847	6	388,154	5	2	王寺町	王寺町	河合町
三郷町	371,969	5	397,069	3	395,659	4	3	平群町	三郷町	斑鳩町
斑鳩町	370,275	6	382,416	4	400,591	3	4	上牧町	斑鳩町	三郷町
安堵町	361,892	7	372,944	7	384,102	6	5	三郷町	上牧町	平群町
上牧町	376,818	4	380,815	5	383,408	7	6	斑鳩町	平群町	安堵町
王寺町	383,942	2	400,961	2	405,827	1	7	安堵町	安堵町	上牧町
広陵町	337,875	8	336,384	8	343,687	9	8	広陵町	広陵町	香芝市
河合町	392,588	1	404,574	1	401,154	2	9	香芝市	香芝市	広陵町

出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から平成29年度までの調剤費の順位を比較したところ、被保険者一人当たり医療費と同様に本町が1位または2位である傾向が続いていることがわかりました。

平成27年度から平成29年度までの県内9市町の年度別調剤費順位

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	54,720	7	51,687	8	53,665	8	1	王寺町	斑鳩町	王寺町
平群町	61,731	5	60,650	5	61,854	5	2	斑鳩町	王寺町	斑鳩町
三郷町	59,760	6	63,773	3	63,698	3	3	河合町	三郷町	三郷町
斑鳩町	72,301	2	68,711	1	70,473	2	4	上牧町	河合町	河合町
安堵町	53,897	8	56,551	7	59,337	7	5	平群町	平群町	平群町
上牧町	61,872	4	58,455	6	60,970	6	6	三郷町	上牧町	上牧町
王寺町	73,682	1	66,093	2	71,663	1	7	香芝市	安堵町	安堵町
広陵町	45,047	9	44,865	9	43,899	9	8	安堵町	香芝市	香芝市
河合町	62,418	3	63,566	4	63,200	4	9	広陵町	広陵町	広陵町

出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から29年度の入院医療費の順位変動を見ると、本町は平成27年度は5位、平成28年度に1位、平成29年度に2位となっていることがわかりました。

平成27年度から平成29年度までの県内9市町の年度別入院医療費順位

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	112,363	8	118,736	8	124,307	8	1	安堵町	王寺町	斑鳩町
平群町	133,240	6	133,021	7	138,202	6	2	河合町	三郷町	王寺町
三郷町	136,771	3	149,130	2	145,084	3	3	三郷町	斑鳩町	三郷町
斑鳩町	127,243	7	142,344	3	151,602	1	4	上牧町	安堵町	安堵町
安堵町	140,677	1	141,847	4	144,096	4	5	王寺町	上牧町	河合町
上牧町	135,618	4	139,242	5	135,865	7	6	平群町	河合町	平群町
王寺町	134,807	5	150,438	1	145,741	2	7	斑鳩町	平群町	上牧町
広陵町	109,166	9	108,886	9	113,815	9	8	香芝市	香芝市	香芝市
河合町	140,245	2	139,217	6	140,607	5	9	広陵町	広陵町	広陵町

出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から平成29年度までの外来医療費の順位変動を見ると、本町は入院医療費と同じように平成28年度に順位が上がってきていることがわかりました。

平成27年度から平成29年度までの県内9市町の年度別外来医療費順位

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	126,515	9	126,127	9	128,970	9	1	河合町	河合町	河合町
平群町	140,773	3	140,518	4	146,654	3	2	広陵町	広陵町	広陵町
三郷町	133,133	5	140,329	5	143,058	6	3	平群町	王寺町	平群町
斑鳩町	132,317	7	130,042	8	137,007	8	4	上牧町	平群町	王寺町
安堵町	129,382	8	136,264	7	143,944	5	5	三郷町	三郷町	安堵町
上牧町	138,047	4	140,044	6	141,242	7	6	王寺町	上牧町	三郷町
王寺町	132,627	6	141,754	3	144,889	4	7	斑鳩町	安堵町	上牧町
広陵町	144,709	2	144,260	2	146,742	2	8	安堵町	斑鳩町	斑鳩町
河合町	145,710	1	158,295	1	150,915	1	9	香芝市	香芝市	香芝市

出典：事業年報

(4) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査の実施状況

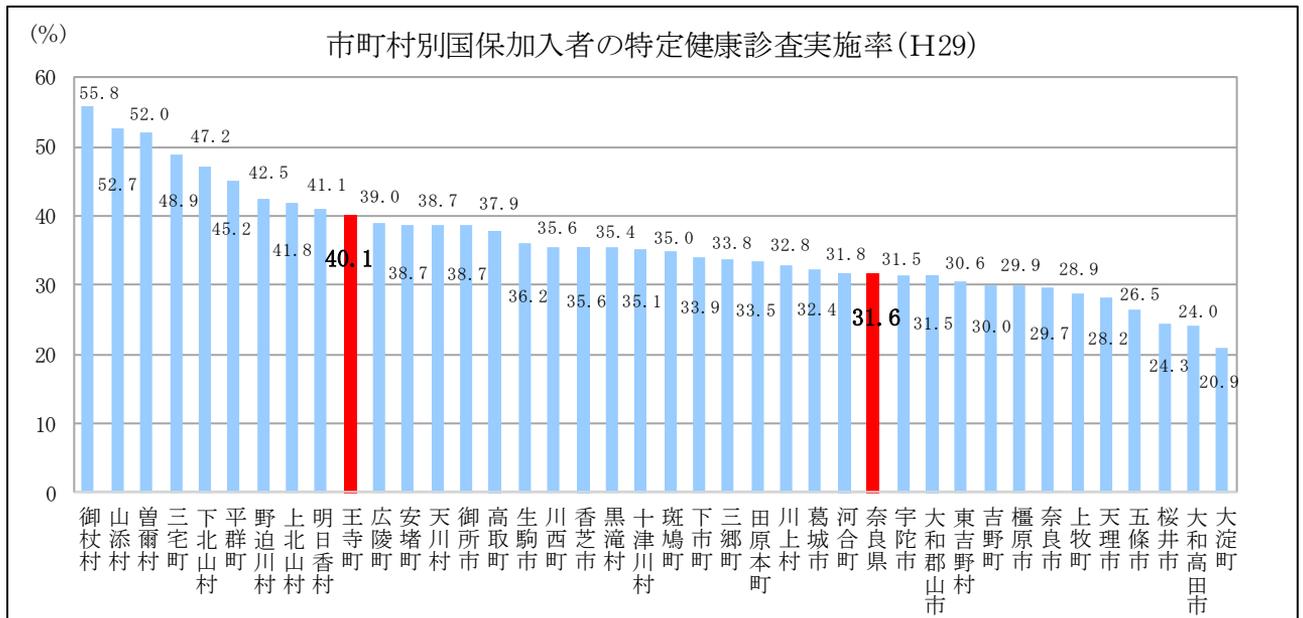
特定健康診査実施率は、毎年増加傾向にあり、対象者の約4割が受診しています。平成29年度の特定健康診査実施率は県平均より高く、市町村順位は県内第10位です。

特定健康診査受診率の推移

年 度	H20	H25	H26	H27	H28	H29
特定健診実施率 (%)	31.0	34.2	36.9	39.2	39.6	40.1
対象者数 (人)	3,789	3,983	3,958	3,846	3,765	3,640
受診者数 (人)	1,175	1,361	1,460	1,509	1,491	1,459
市町村順位 (位)	14	15	12	8	10	10

出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

県内市町村別国保加入者の特定健康診査実施率



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

②特定保健指導の実施状況

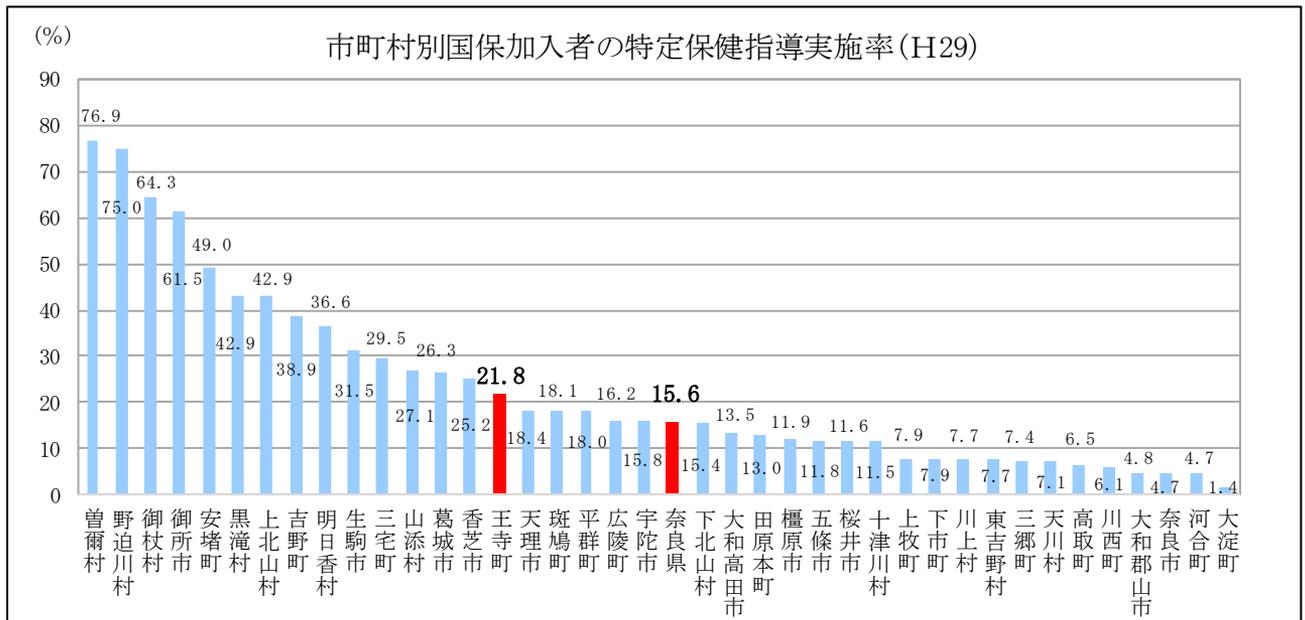
特定保健指導実施率は、平成25年度から平成27年度までは増加しましたが、平成28年度からは減少しております。これは、対象者の中に「かかりつけ医から指導してもらっているから」、「去年、指導を受けたのでわかっている」などの理由から保健指導を受けられない被保険者が増えているからです。こういった被保険者がどうすれば保健指導を受けていただけるのか、魅力ある保健指導にしていくにはどうしたらいいかを実施主体である保健センターと連携して考えていきます。

特定保健指導実施率の推移

年 度	H20	H25	H26	H27	H28	H29
特定保健指導実施率 (%)	40.6	23.9	25.2	31.4	29.7	21.8
対象者数 (人)	180	159	119	153	145	124
終了者数 (人)	73	38	30	48	43	27
市町村順位 (位)	9	16	18	12	11	15

出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

県内市町村別国保加入者の特定保健指導実施率



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

(5) 介護保険の状況

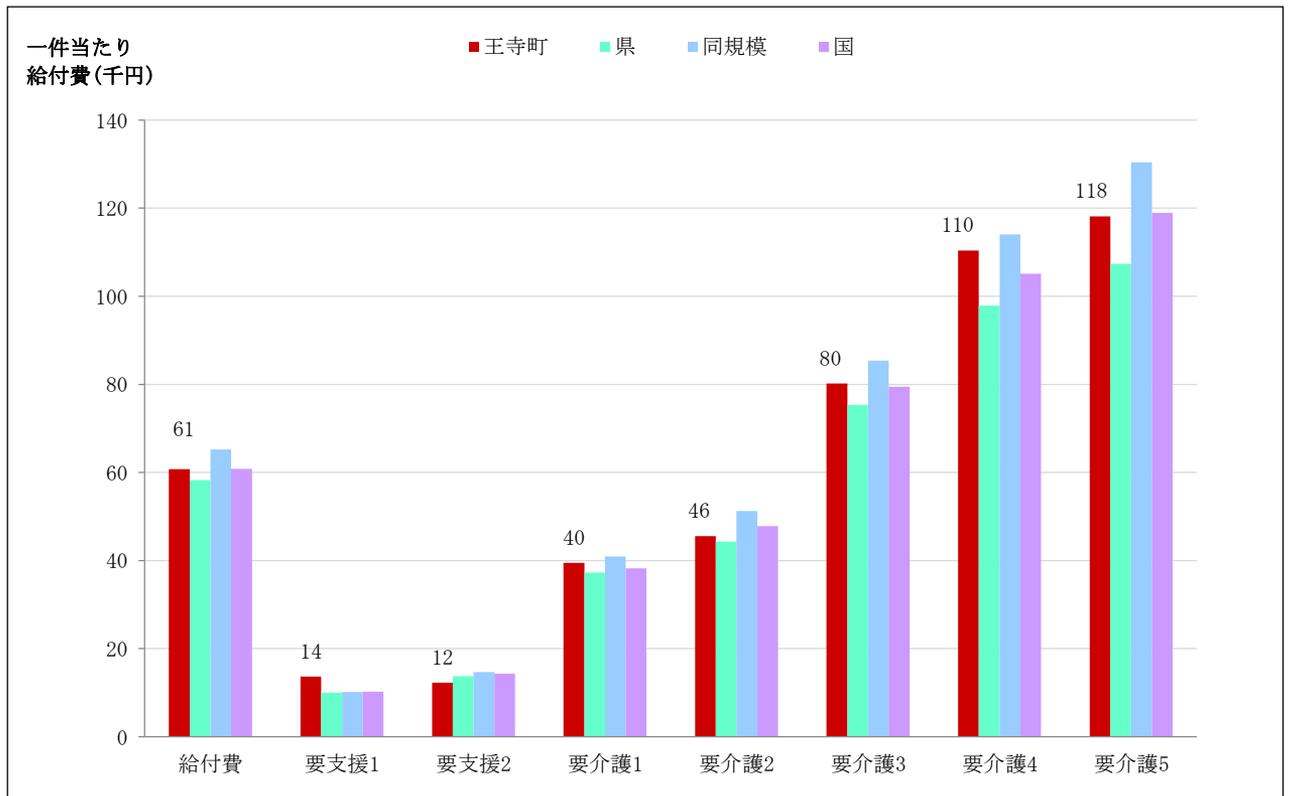
以下は、本町の平成29年度における、認定率及び給付費等の状況を示したものです。

認定率及び給付費等の状況(平成29年度)

区分	王寺町	県	同規模	国
認定率	20.0%	18.7%	16.9%	18.8%
認定者数(人)	1,272	75,078	221,713	6,296,270
第1号(65歳以上)	1,244	73,406	216,096	6,142,951
第2号(40～64歳)	28	1,672	5,617	153,319
一件当たり給付費(千円)				
給付費	61	58	65	61
要支援1	14	10	10	10
要支援2	12	14	15	14
要介護1	40	37	41	38
要介護2	46	44	51	48
要介護3	80	75	85	79
要介護4	110	98	114	105
要介護5	118	107	130	119

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

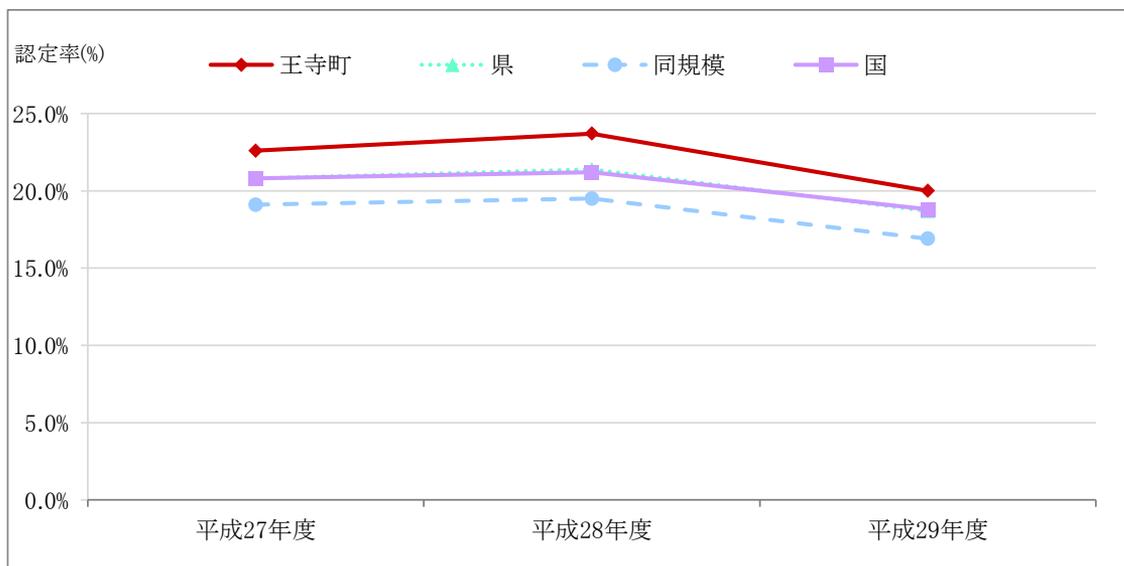
以下は、平成27年度から平成29年度における、認定率及び認定者数を年度別に示したものです。平成29年度認定率20.0%は平成27年度22.6%より2.6ポイント低下しており、平成29年度の認定者数1,272人は平成27年度1,170人より102人増加しています。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
王寺町	平成27年度	22.6%	1,170	1,142	28
	平成28年度	23.7%	1,237	1,208	29
	平成29年度	20.0%	1,272	1,244	28
県	平成27年度	20.8%	71,637	69,938	1,699
	平成28年度	21.4%	73,590	71,945	1,645
	平成29年度	18.7%	75,078	73,406	1,672
同規模	平成27年度	19.1%	215,974	210,090	5,884
	平成28年度	19.5%	220,077	214,304	5,773
	平成29年度	16.9%	221,713	216,096	5,617
国	平成27年度	20.8%	5,883,288	5,730,333	152,955
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813
	平成29年度	18.8%	6,296,270	6,142,951	153,319

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成29年度における、認定者の疾病別有病率を示したものです。疾病別の有病者数を合計すると3,827人となり、認定者は平均3.0疾病を有していることがわかります。

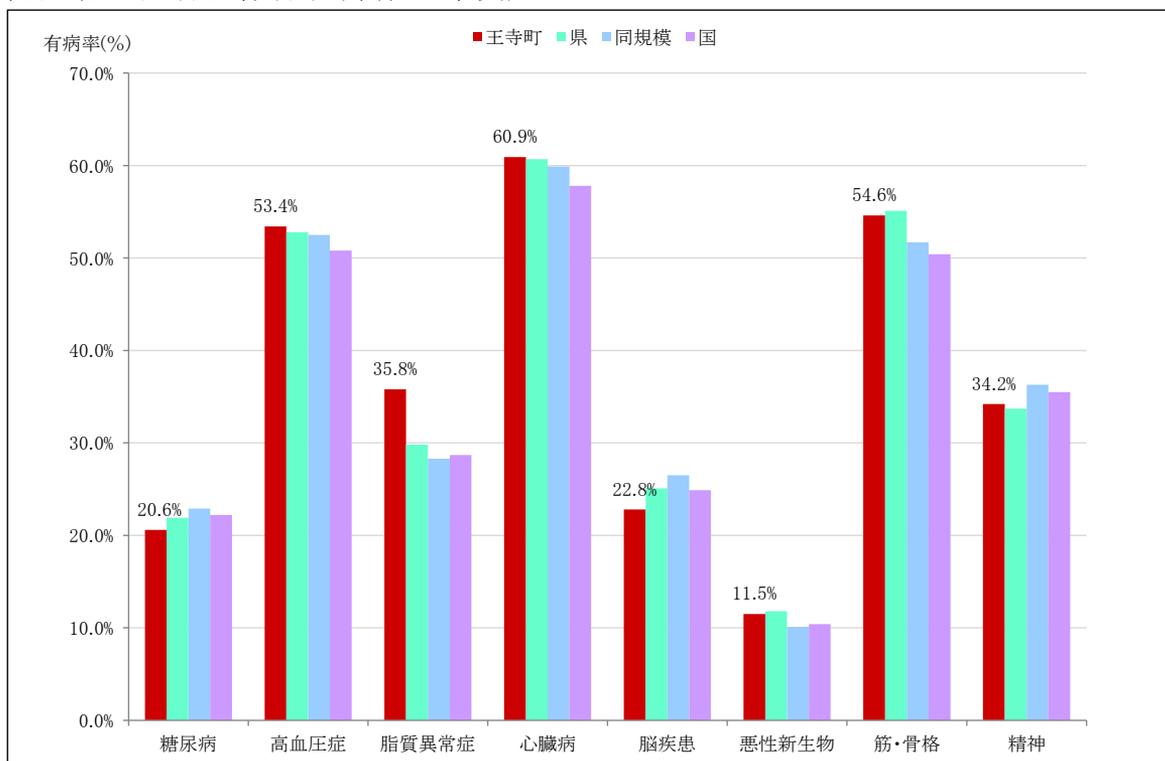
認定者の疾病別有病状況(平成29年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	王寺町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	1,272		75,078		221,713		6,296,270	
糖尿病	実人数(人)	271	16,777	7	51,535	7	1,415,008	7
	有病率	20.6%	21.9%		22.9%		22.2%	
高血圧症	実人数(人)	690	40,010	3	117,346	2	3,219,304	2
	有病率	53.4%	52.8%		52.5%		50.8%	
脂質異常症	実人数(人)	461	22,744	5	63,632	5	1,832,047	5
	有病率	35.8%	29.8%		28.3%		28.7%	
心臓病	実人数(人)	786	45,936	1	133,748	1	3,661,986	1
	有病率	60.9%	60.7%		59.9%		57.8%	
脳疾患	実人数(人)	298	18,775	6	58,685	6	1,558,904	6
	有病率	22.8%	25.1%		26.5%		24.9%	
悪性新生物	実人数(人)	158	9,125	8	22,955	8	667,556	8
	有病率	11.5%	11.8%		10.1%		10.4%	
筋・骨格	実人数(人)	709	41,728	2	115,300	3	3,194,873	3
	有病率	54.6%	55.1%		51.7%		50.4%	
精神	実人数(人)	454	25,748	4	81,555	4	2,250,724	4
	有病率	34.2%	33.7%		36.3%		35.5%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成27年度から平成29年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示したものです。平成29年度の認定者が有している平均疾病数3.0疾病は平成27年度からほぼ横ばいとなっています。

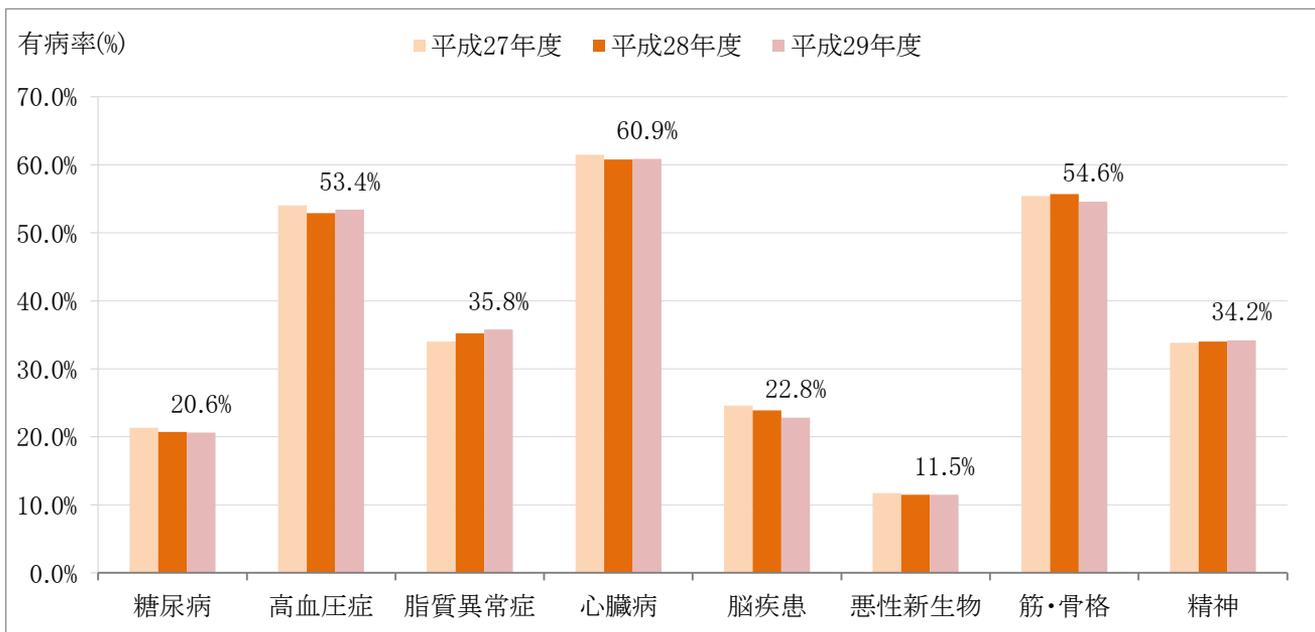
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	王寺町					県			同規模			国			
	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
認定者数(人)	1,170		1,237		1,272		71,637	73,590	75,078	215,974	220,077	221,713	5,883,288	6,037,083	6,296,270
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	251 7	255 7	271 7	20.7%	20.6%	15,555 21.2%	16,134 21.5%	16,777 21.9%	49,367 22.5%	50,726 22.7%	51,535 22.9%	1,311,205 21.9%	1,350,152 22.1%	1,415,008 22.2%
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	622 3	638 3	690 3	54.0%	52.9%	37,844 52.0%	39,123 52.4%	40,010 52.8%	114,621 52.4%	116,656 52.4%	117,346 52.5%	3,025,010 50.8%	3,101,200 50.9%	3,219,304 50.8%
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	403 4	442 4	461 4	34.0%	35.2%	21,030 28.6%	22,093 29.3%	22,744 29.8%	60,553 27.4%	62,464 27.9%	63,632 28.3%	1,683,014 28.0%	1,741,866 28.4%	1,832,047 28.7%
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	714 1	741 1	786 1	61.5%	60.8%	43,728 60.2%	45,016 60.4%	45,936 60.7%	130,708 59.9%	132,934 59.8%	133,748 59.9%	3,444,300 57.9%	3,529,682 58.0%	3,661,986 57.8%
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	282 6	310 6	298 6	24.6%	23.9%	18,953 26.4%	18,930 25.6%	18,775 25.1%	59,313 27.4%	59,484 26.9%	58,685 26.5%	1,533,687 25.9%	1,538,683 25.5%	1,558,904 24.9%
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	139 8	158 8	158 8	11.7%	11.5%	8,350 11.5%	8,708 11.5%	9,125 11.8%	21,543 9.8%	22,320 9.9%	22,955 10.1%	606,159 10.1%	631,950 10.3%	667,556 10.4%
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	662 2	678 2	709 2	55.4%	55.7%	39,441 54.4%	40,760 54.6%	41,728 55.1%	111,807 51.1%	114,481 51.4%	115,300 51.7%	2,976,401 50.0%	3,067,196 50.3%	3,194,873 50.4%
精神	実人数(人) 有病率(%)	394 5	435 5	454 5	33.8%	34.0%	23,914 32.8%	24,773 33.1%	25,748 33.7%	77,811 35.5%	80,074 35.8%	81,555 36.3%	2,075,125 34.7%	2,154,214 35.2%	2,250,724 35.5%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(6) 主たる死因の状況

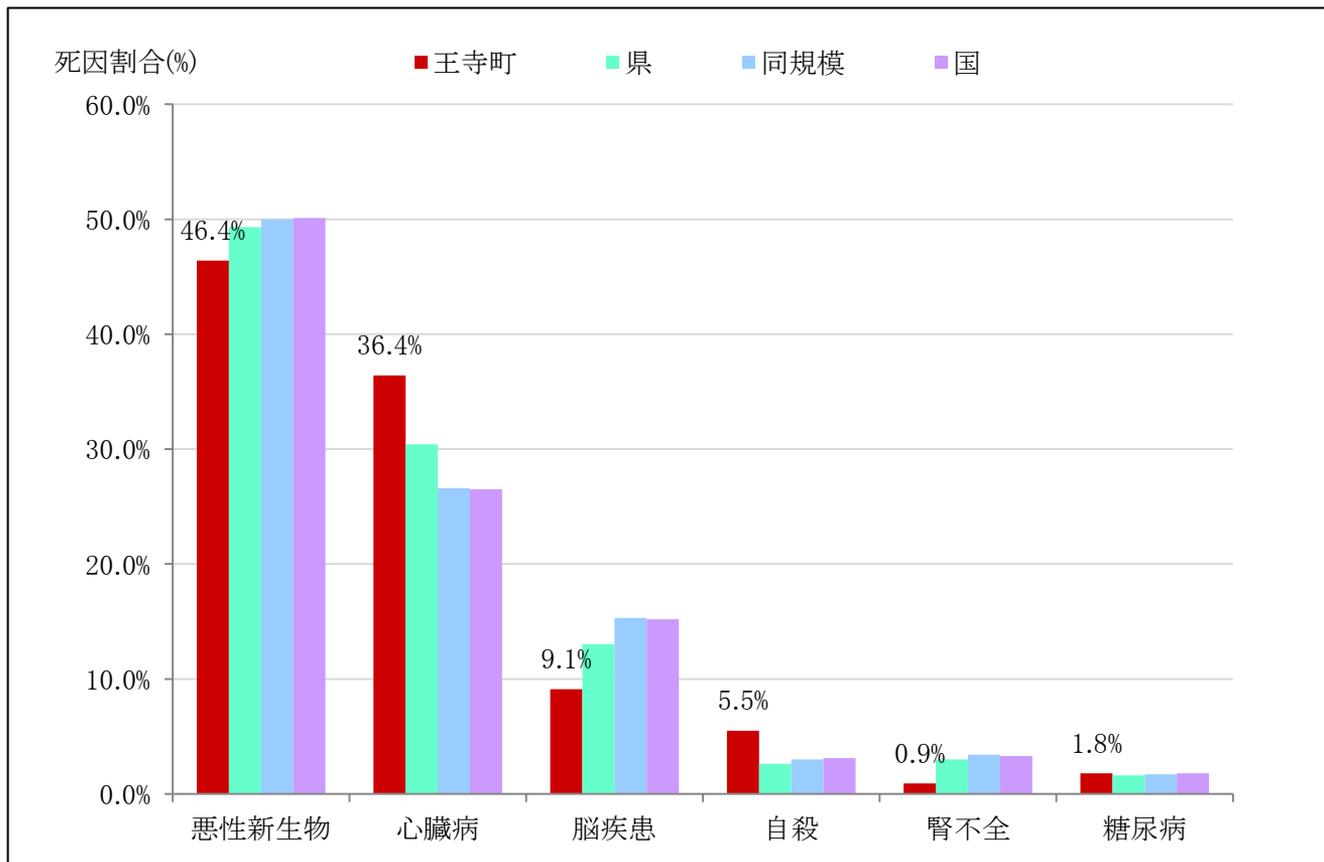
以下は、本町の平成29年度における、主たる死因の状況を示したものです。

主たる死因の状況(平成29年度)

疾病項目	王寺町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	51	46.4%	49.3%	50.0%	50.1%
心臓病	40	36.4%	30.4%	26.6%	26.5%
脳疾患	10	9.1%	13.0%	15.3%	15.2%
自殺	6	5.5%	2.6%	3.0%	3.1%
腎不全	1	0.9%	3.0%	3.4%	3.3%
糖尿病	2	1.8%	1.6%	1.7%	1.8%
合計	110				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

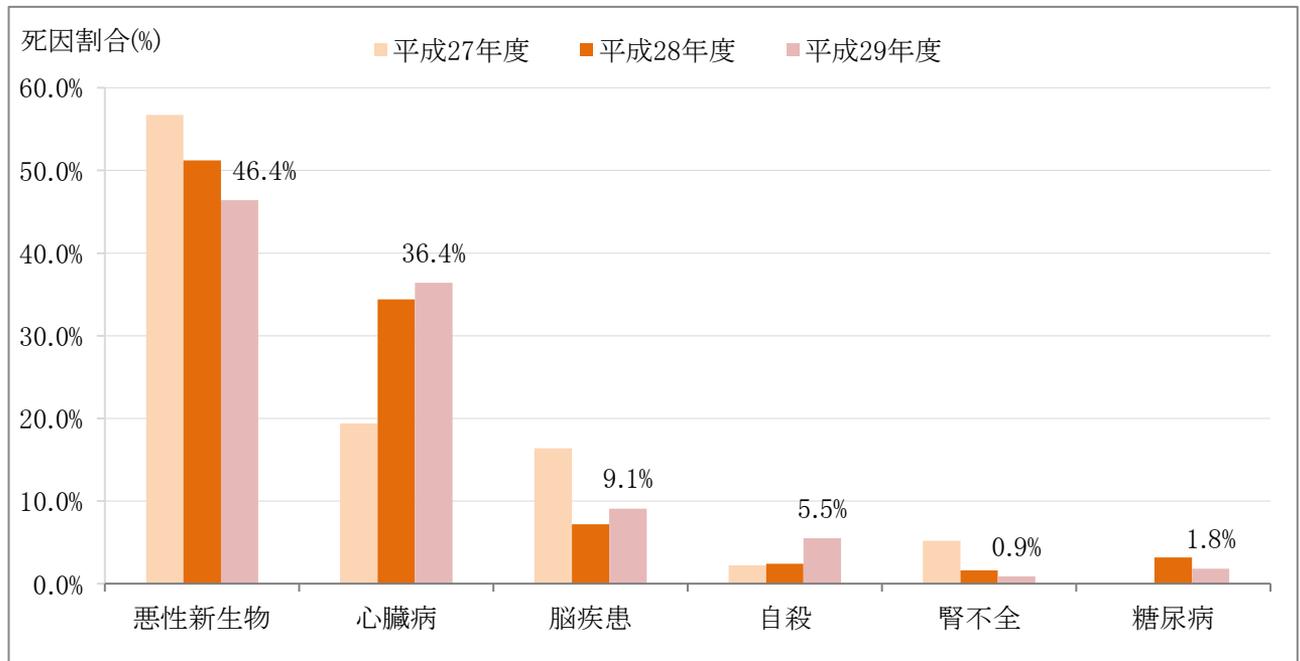
以下は、本町の平成27年度から平成29年度における、主たる死因の状況を年度別に示したものです。平成29年度を平成27年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数51人は平成27年度76人より25人減少しており、心臓病を死因とする人数40人は平成27年度26人より14人増加しています。また、脳疾患を死因とする人数10人は平成27年度22人より12人減少しています。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	王寺町						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度									
悪性新生物	76	64	51	56.7%	51.2%	46.4%	48.7%	49.4%	49.3%	48.7%	49.0%	50.0%	49.0%	49.6%	50.1%
心臓病	26	43	40	19.4%	34.4%	36.4%	29.9%	29.8%	30.4%	26.3%	26.6%	26.6%	26.4%	26.5%	26.5%
脳疾患	22	9	10	16.4%	7.2%	9.1%	13.9%	13.4%	13.0%	16.3%	15.9%	15.3%	15.9%	15.4%	15.2%
自殺	3	3	6	2.2%	2.4%	5.5%	2.9%	2.8%	2.6%	3.5%	3.3%	3.0%	3.5%	3.3%	3.1%
腎不全	7	2	1	5.2%	1.6%	0.9%	3.0%	3.0%	3.0%	3.5%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%	3.3%
糖尿病	0	4	2	0.0%	3.2%	1.8%	1.6%	1.6%	1.6%	1.8%	1.9%	1.7%	1.9%	1.8%	1.8%
合計	134	125	110												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況は以下の通りです。

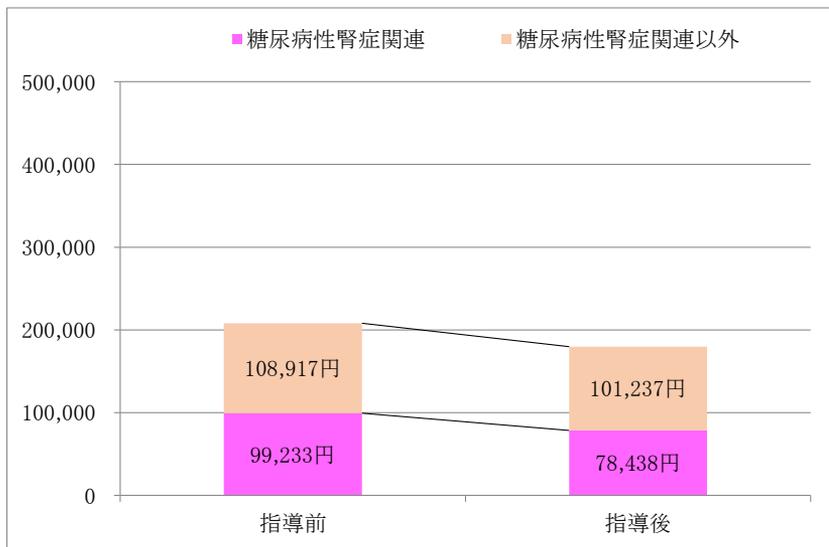
事業名	事業目的	事業概要
特定健診・ 特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	<p>○特定健診の未受診者に対し、過去の健診結果を記載した通知書を送付し、特定健診への受診勧奨を行う。</p> <p>○通知の内容は、健診値をレーダーチャートで分かりやすく表現する。</p>
健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	<p>○特定健診の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで医療機関への受診勧奨を行う。</p> <p>○通知書の内容は、健診値をレーダーチャートで分かりやすく表現したものとする。</p>
糖尿病性腎症 重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	<p>○特定健診の健診値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職により対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行う。</p> <p>○指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように継続的にフォローを行う。</p>

実施内容	目標値	達成状況
<p>○管理栄養士による未受診者への電話勧奨の強化と過去に1度受診したが、ここ数年、特定健診を受診していない者を対象に通知を行う。</p>	<p>○特定健診受診率 平成28年度 40.0% 平成29年度 45.0%</p> <p>○特定保健指導終了率 平成28年度 27.0% 平成29年度 30.0%</p>	<p>○特定健診受診率 平成28年度 39.6% (目標より△0.4%) 平成29年度 40.1% (目標より△4.9%)</p> <p>○特定保健指導終了率 平成28年度 29.7% (目標より+2.7%) 平成29年度 21.8% (目標より△8.2%)</p>
<p>○健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。</p> <p>○通知後に医療機関受診があるか確認する。</p>	<p>○対象者の医療機関受診率 20.0% (受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合)</p> <p>○健診異常値放置者20.0%減少</p>	<p>○対象者の医療機関受診率 平成28年度 16.2% (目標より△3.8%) 平成29年度 8.3% (目標より△11.7%)</p> <p>○健診異常値放置対象者 平成28年度 136人→平成29年度 120人 (136人から120人となり実人数で16人減少) 減少率11.8% (目標より△8.2%)</p>
<p>○現状の確認と目標を決定し、面談(2回)、電話指導(10回)を行いながら指導対象者に対して適切な指導を行う。</p>	<p>○指導実施完了者の生活習慣改善率 70.0%</p> <p>○指導実施完了者検査値改善率 70.0%</p>	<p>○指導対象者の指導実施者数 平成28年度 対象者38人 指導実施者数5人 指導実施率13.2%</p> <p>平成29年度 対象者46人 指導実施者数4人 指導実施率8.7%</p> <p>○指導実施完了者の生活習慣改善率 指導完了者の「自己管理行動指標」より 平成28年度 5人中5人が改善 生活指導改善率100% (目標より+30%)</p> <p>平成29年度 4人中4人が改善 生活指導改善率100% (目標より+30%)</p> <p>○指導実施完了者の検査値改善率 指導実施完了者全員に体重、血圧、空腹時血糖ほか11項目のうち1つ以上改善が見られた。</p>

(2) 重症化予防指導事業における一人当たり医療費の推移

事業に参加していただいた方の指導前、指導後の一人当たり医療費を比較しました。指導後とは平成28年度、平成29年度指導完了者ともに直近の6ヶ月としています。平成28年度指導完了者は医療費の減少が見られます。平成29年度指導完了者のグラフでは、指導後に入院が発生したため、医療費が高くなっています。

平成28年度指導完了者の一人当たり医療費

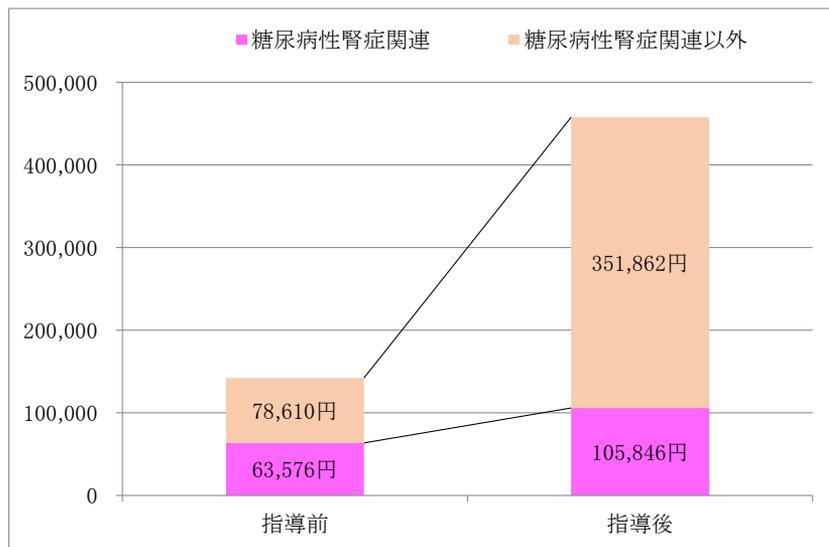


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成30年3月診療分(24ヵ月分)。

指導前: 対象診療年月は平成28年4月～平成28年9月(6ヵ月分)

指導後: 対象診療年月は平成29年10月～平成30年3月(6ヵ月分)

平成29年度指導完了者の一人当たり医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成30年3月診療分(24ヵ月分)。

指導前: 対象診療年月は平成29年2月～平成29年7月(6ヵ月分)

指導後: 対象診療年月は平成29年10月～平成30年3月(6ヵ月分)

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、王寺町国民健康保険における、平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析します。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。被保険者数は平均5,184人、レセプト件数は平均6,701件、患者数は平均2,781人となっています。また、患者一人当たりの医療費は平均54,951円となっています。

基礎統計

		平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	
A	被保険者数(人)	5,322	5,232	5,236	5,214	5,175	5,198	5,185	
B	レセプト件数(件)	入院外	4,040	4,024	4,111	3,978	3,917	3,949	4,018
		入院	118	109	119	101	103	95	113
		調剤	2,668	2,581	2,649	2,500	2,507	2,508	2,576
		合計	6,826	6,714	6,879	6,579	6,527	6,552	6,707
C	医療費(千円) ※	155,090	146,550	155,423	152,006	155,401	144,783	167,061	
D	患者数(人) ※	2,793	2,801	2,835	2,772	2,755	2,729	2,775	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(千円)	29	28	30	29	30	28	32	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(千円)	23	22	23	23	24	22	25	
C/D	患者一人当たりの医療費(千円)	56	52	55	55	56	53	60	
B/A	受診率(%)	128.3%	128.3%	131.4%	126.2%	126.1%	126.0%	129.4%	
D/A	有病率(%)	52.5%	53.5%	54.1%	53.2%	53.2%	52.5%	53.5%	

		平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	平成30年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	5,152	5,153	5,124	5,097	5,119	5,184		
B	レセプト件数(件)	入院外	3,925	4,153	3,982	3,991	4,082	4,014	48,170
		入院	105	104	101	115	103	107	1,286
		調剤	2,532	2,737	2,555	2,522	2,624	2,580	30,959
		合計	6,562	6,994	6,638	6,628	6,809	6,701	80,415
C	医療費(千円) ※	142,903	149,075	159,991	155,860	149,698	152,820	1,833,840	
D	患者数(人) ※	2,739	2,824	2,806	2,744	2,799	2,781	33,372	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(千円)	28	29	31	31	29	29		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(千円)	22	21	24	24	22	23		
C/D	患者一人当たりの医療費(千円)	52	53	57	57	53	55		
B/A	受診率(%)	127.4%	135.7%	129.5%	130.0%	133.0%	129.3%		
D/A	有病率(%)	53.2%	54.8%	54.8%	53.8%	54.7%	53.6%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

レセプトデータを基に算出しており、被保険者数が他の集計と比べて異なる場合がある。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成25年度から平成29年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析します。平成29年度を平成25年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数5,184人は、平成25年度5,808人より624人減少しており、医療費18億3,384万円は平成25年度16億2,186万円より2億1,198万円増加しています。また、一カ月平均の患者数2,781人は、平成25年度2,985人より204人減少しています。

年度別 基礎統計

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	5,808	5,724	5,617	5,410	5,184	
B	レセプト件数(件)	入院外	46,114	48,330	51,927	49,790	48,170
		入院	1,159	1,299	1,341	1,375	1,286
		調剤	32,936	33,480	32,971	31,681	30,959
		合計	80,209	83,109	86,239	82,846	80,415
C	医療費(千円) ※	1,621,857	1,716,370	1,849,832	1,888,335	1,833,840	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	2,985	2,999	3,006	2,894	2,781	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(千円)	279	300	329	349	354	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(千円)	20	21	21	23	23	
D/A	有病率(%)	51.4%	52.4%	53.5%	53.5%	53.6%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。
 ※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは573件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占めています。高額レセプトの医療費は5億8,334万円となり、医療費全体の31.8%を占めています。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月
A	レセプト件数(件)	6,826	6,714	6,879	6,579	6,527	6,552	6,707
B	高額レセプト件数(件)	51	48	49	48	49	43	52
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.8%
C	医療費全体(千円) ※	155,090	146,550	155,423	152,006	155,401	144,783	167,061
D	高額レセプトの医療費(千円) ※	50,572	44,628	49,079	51,259	51,154	44,227	58,926
E	その他レセプトの医療費(千円) ※	104,518	101,922	106,345	100,747	104,246	100,555	108,135
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.6%	30.5%	31.6%	33.7%	32.9%	30.5%	35.3%

		平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	平成30年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	6,562	6,994	6,638	6,628	6,809	6,701	80,415
B	高額レセプト件数(件)	41	48	46	51	47	48	573
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	
C	医療費全体(千円) ※	142,903	149,075	159,991	155,860	149,698	152,820	1,833,840
D	高額レセプトの医療費(千円) ※	36,771	45,267	54,900	52,803	43,752	48,612	583,338
E	その他レセプトの医療費(千円) ※	106,132	103,808	105,091	103,057	105,946	104,208	1,250,502
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	25.7%	30.4%	34.3%	33.9%	29.2%	31.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

以下は、平成25年度から平成29年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものです。平成29年度高額レセプト件数573件は平成25年度423件より150件増加しており、平成29年度高額レセプトの医療費5億8,334万円は平成25年度4億2,681万円より1億5,653万円増加しています。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
A	レセプト件数(件)	80,209	83,109	86,239	82,846	80,415
B	高額レセプト件数(件)	423	453	530	594	573
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	0.7%
C	医療費全体(千円) ※	1,621,857	1,716,370	1,849,832	1,888,335	1,833,840
D	高額レセプトの医療費(千円) ※	426,810	445,979	550,056	634,775	583,338
E	その他レセプトの医療費(千円) ※	1,195,046	1,270,391	1,299,776	1,253,560	1,250,502
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	26.3%	26.0%	29.7%	33.6%	31.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

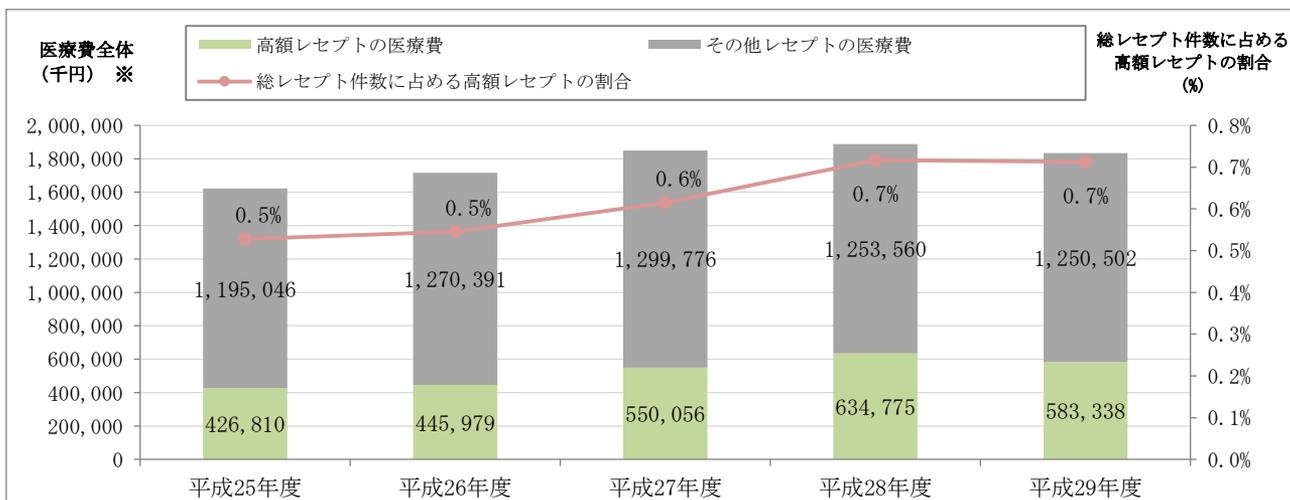
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものです。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「真菌症」「熱傷及び腐食」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	医療費(千円) ※		
				入院	入院外	合計
1	0107	真菌症	クリプトコッカス性髄膜炎	13,850	263	14,114
2	1903	熱傷及び腐食	全身熱傷	7,677	70	7,747
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	6,987	19	7,007
4	1402	腎不全	末期腎不全, 慢性腎不全	23,774	20,619	44,393
5	0507	その他の精神及び行動の障害	言語障害, 発達障害	12,365	264	12,629
6	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮頸癌	4,035	1,806	5,840
7	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	腎移植後	1,991	3,836	5,826
8	0906	脳梗塞	脳梗塞, 塞栓性脳梗塞, 脳幹梗塞	32,804	3,228	36,032
9	0606	その他の神経系の疾患	末梢神経障害性疼痛, 髄膜炎, 炎症性ミオパチー	12,642	2,681	15,323
10	0102	結核	肺結核	0	5,081	5,081
11	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 進行乳癌	3,157	16,657	19,814
12	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	4,288	522	4,810
13	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	多血症	0	4,627	4,627
14	0109	その他の感染症及び寄生虫症	敗血症	4,297	271	4,568
15	0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	全般性不安障害	4,016	489	4,505
16	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	皮膚筋炎, 強皮症, 膝関節滑膜炎	6,529	5,422	11,951
17	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	3,548	4,374	7,922
18	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	4,298	15,485	19,783
19	0807	その他の耳疾患	全聾	3,429	329	3,758
20	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺癌	24,139	19,316	43,456

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

以下は、平成25年度から平成29年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	医療費(千円) ※		
				入院	入院外	合計
平成25年度	1	0904 くも膜下出血	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	17,410	44	17,454
	2	0905 脳内出血	脳出血, 脳出血後遺症	12,528	320	12,849
	3	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌	24,183	790	24,973
	4	1402 腎不全	慢性腎不全	7,675	16,331	24,006
	5	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	硬膜下血腫	5,842	0	5,842
平成26年度	1	0606 その他の神経系の疾患	脳炎, 重症筋無力症, ギラン・バレー症候群	25,683	369	26,052
	2	0507 その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害, 発達障害	16,213	248	16,461
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	6,140	15,248	21,388
	4	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	硬膜下血腫, 脳挫傷, 外傷性慢性硬膜下血腫	19,381	754	20,136
	5	0208 悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, B細胞リンパ腫, 非ホジキンリンパ腫	16,061	3,928	19,989
平成27年度	1	0904 くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	10,055	70	10,124
	2	0507 その他の精神及び行動の障害	発達障害	7,371	0	7,371
	3	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	16,503	44,083	60,587
	4	1309 骨の密度及び構造の障害	大腿骨病的骨折	3,674	2,507	6,181
	5	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	5,558	0	5,558
平成28年度	1	0109 その他の感染症及び寄生虫症	MRSA敗血症	9,860	0	9,860
	2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	妊娠28週以上で37週未満で出生した児, 早産児	17,505	816	18,321
	3	1009 慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患	6,181	1,068	7,249
	4	0603 てんかん	てんかん	13,672	51	13,723
	5	0606 その他の神経系の疾患	末梢神経障害性疼痛, 筋萎縮性側索硬化症, 非交通性水頭症	29,346	2,450	31,796
平成29年度	1	0107 真菌症	クリプトコッカス性髄膜炎	13,850	263	14,114
	2	1903 熱傷及び腐食	全身熱傷	7,677	70	7,747
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	6,987	19	7,007
	4	1402 腎不全	末期腎不全, 慢性腎不全	23,774	20,619	44,393
	5	0507 その他の精神及び行動の障害	言語障害, 発達障害	12,365	264	12,629

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

以下は、平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示したものです。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「骨折」となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	医療費(千円) ※		
				入院	入院外	合計
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 頭頸部癌	55,031	32,454	87,485
1	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 発作性心房細動, 洞不全症候群	76,574	14,340	90,914
3	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折	23,884	5,637	29,521
4	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下側壁心筋梗塞, 急性前壁心筋梗塞	22,097	5,716	27,813
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺癌	24,139	19,316	43,456
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	骨髄異形成症候群, 脊髄腫瘍, 円蓋部髄膜腫	17,695	10,448	28,142
7	1302	関節症	変形性股関節症, 一側性原発性膝関節症, 一側性形成不全性股関節症	19,379	3,859	23,238
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 緑内障, 硝子体混濁	3,845	4,234	8,079
8	0905	脳内出血	被殻出血, 視床出血, 皮質脳内出血	19,653	2,057	21,710
8	0906	脳梗塞	脳梗塞, 塞栓性脳梗塞, 脳幹梗塞	32,804	3,228	36,032
8	0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症, 慢性硬膜下血腫, 中大脳動脈瘤	21,955	2,359	24,314
8	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 総胆管結石, 胆石性急性胆のう炎	4,217	1,754	5,971
8	1402	腎不全	末期腎不全, 慢性腎不全	23,774	20,619	44,393
8	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 小指切断, 術後創部感染	9,813	2,701	12,514
15	1113	その他の消化器系の疾患	非特異性多発性小腸潰瘍, 急性汎発性腹膜炎, S状結腸憩室炎	10,714	4,703	15,417
16	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	4,298	15,485	19,783
16	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃消化管間質腫瘍	5,871	8,813	14,685
16	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 大腸癌, 上行結腸癌	10,593	3,521	14,114
16	0601	パーキンソン病	パーキンソン病, パーキンソン病Y a h r 3	10,904	3,440	14,344
16	0912	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離S t a n f o r d A, 下肢慢性動脈閉塞症, 深部静脈血栓症	15,106	2,647	17,753

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

以下は、平成25年度から平成29年度における、患者数上位5疾病を年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(千円) ※
平成25年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 尿管口部膀胱癌, 舌癌	23	2,817
		0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 心室頻拍, 心室細動	20	2,764
		1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折, 足関節外果骨折	18	1,628
		0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 壁内子宮平滑筋腫, K I T (C D 1 1 7) 陽性小腸間質腫瘍	14	1,760
		0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性心筋梗塞, 不安定狭心症	13	2,389
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 卵巣癌	25	2,740
	2	1901 骨折	胸椎圧迫骨折, 橈骨遠位端骨折, 踵骨骨折	21	1,897
	3	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, うっ血性心不全, 心室期外収縮	15	2,492
	4	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 形成不全性股関節症	14	2,369
	5	0902 虚血性心疾患	不安定狭心症, 労作性狭心症, 急性貫壁性心筋梗塞	11	2,321
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 転移性脳腫瘍	37	2,917
	2	1302 関節症	両側性原発性膝関節症, 変形性股関節症, 両側性原発性股関節症	16	2,403
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 膝蓋骨骨折, 骨折	16	1,525
	4	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 発作性心房細動, 心房粗動	15	2,899
	5	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞	14	2,741
平成28年度	1	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 足関節外果骨折	27	1,788
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 転移性肺癌	23	3,226
	3	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, うっ血性心不全, 心不全	18	4,055
	3	1302 関節症	両側性原発性膝関節症, 変形性股関節症, 変形性膝関節症	18	2,371
	5	1113 その他の消化器系の疾患	膵径ヘルニア, 小腸クローン病, 非特異性多発性小腸潰瘍	17	1,825
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	26	3,365
	1	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 発作性心房細動, 洞不全症候群	26	3,497
	3	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折	19	1,554
	4	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下側壁心筋梗塞, 急性前壁心筋梗塞	13	2,139
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺癌	12	3,621

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の18.7%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の15.8%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (千円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	68,136	3.7%	11	6,291	12	1,664	9	41	12
II. 新生物<腫瘍>	287,074	15.8%	2	6,609	10	1,681	8	171	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,475	0.6%	17	1,529	17	385	16	27	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	162,492	8.9%	4	26,354	2	2,362	3	69	8
V. 精神及び行動の障害	119,981	6.6%	6	6,690	9	644	14	186	1
VI. 神経系の疾患	97,479	5.4%	8	12,093	6	1,189	12	82	6
VII. 眼及び付属器の疾患	73,030	4.0%	10	9,256	7	1,859	6	39	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	12,488	0.7%	15	2,322	16	567	15	22	18
IX. 循環器系の疾患	341,113	18.7%	1	27,374	1	2,199	5	155	3
X. 呼吸器系の疾患	94,338	5.2%	9	14,814	5	2,731	1	35	14
X I. 消化器系の疾患 ※	123,266	6.8%	5	20,640	4	2,378	2	52	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	36,337	2.0%	13	8,456	8	1,722	7	21	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966	9.3%	3	20,855	3	2,226	4	76	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	117,809	6.5%	7	6,596	11	1,192	11	99	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,655	0.1%	19	132	20	42	20	63	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,473	0.1%	20	34	21	17	21	145	4
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,544	0.2%	18	306	19	115	18	31	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1.2%	14	6,136	13	1,310	10	17	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	65,573	3.6%	12	3,676	14	1,012	13	65	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,827	0.6%	16	2,376	15	374	17	29	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,117	0.1%	21	453	18	97	19	12	21
合計	1,821,866			79,476		4,800		380	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

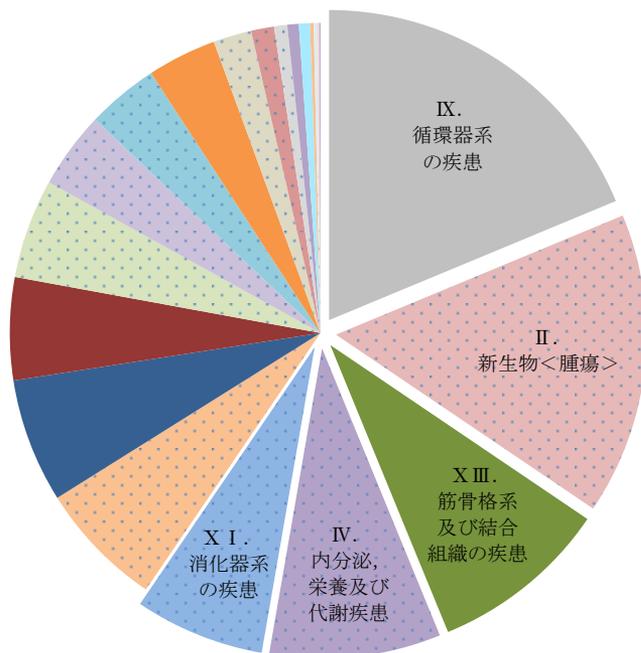
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



- IX. 循環器系の疾患
- II. 新生物<腫瘍>
- X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- X I. 消化器系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
- VI. 神経系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- I. 感染症及び寄生虫症
- X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
- X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- X V. 妊娠、分娩及び産じよく
- X VI. 周産期に発生した病態
- X X II. 特殊目的用コード
- 分類外

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、平成25年度から平成29年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

疾病分類 (大分類)	平成25年度			平成26年度		
	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	34,753	2.2%	12	50,552	3.0%	12
II. 新生物<腫瘍>	230,722	14.6%	2	248,179	14.7%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,010	0.8%	15	12,364	0.7%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	155,600	9.9%	3	162,233	9.6%	4
V. 精神及び行動の障害	117,273	7.4%	6	127,486	7.6%	5
VI. 神経系の疾患	62,344	3.9%	10	85,466	5.1%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	70,480	4.5%	9	81,054	4.8%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	9,811	0.6%	16	8,187	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	303,019	19.2%	1	266,799	15.8%	1
X. 呼吸器系の疾患	87,565	5.5%	8	90,331	5.4%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	136,525	8.6%	5	127,268	7.6%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	25,350	1.6%	13	25,647	1.5%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	154,392	9.8%	4	175,822	10.4%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	96,713	6.1%	7	101,642	6.0%	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	253	0.0%	20	3,137	0.2%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	176	0.0%	21	1,227	0.1%	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,335	0.3%	17	5,811	0.3%	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,870	1.3%	14	25,546	1.5%	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	52,979	3.4%	11	76,510	4.5%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,638	0.2%	18	5,408	0.3%	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,715	0.1%	19	2,810	0.2%	20
合計	1,579,525			1,683,476		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

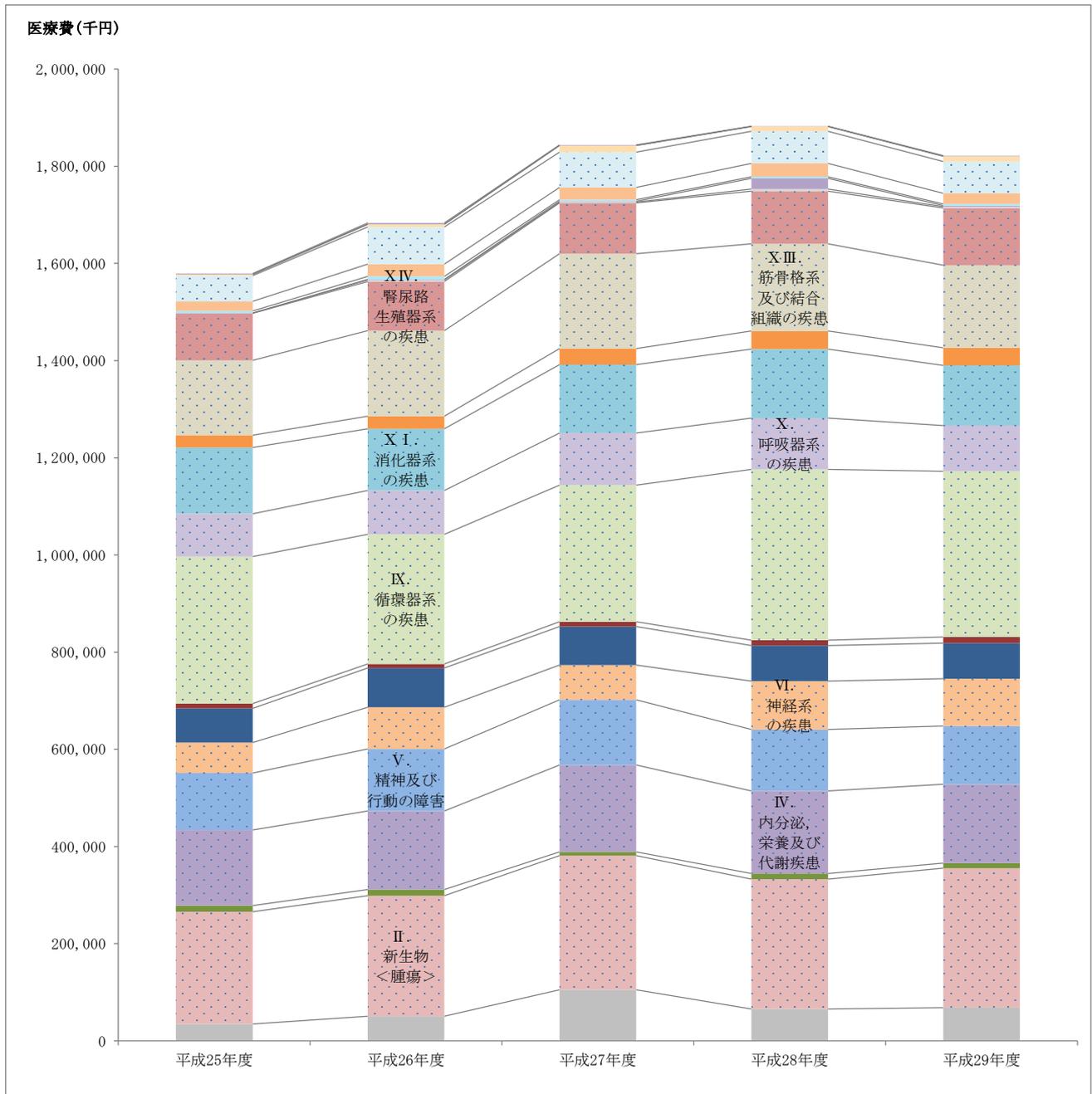
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

平成27年度			平成28年度			平成29年度		
医療費(千円)	構成比(%)	順位	医療費(千円)	構成比(%)	順位	医療費(千円)	構成比(%)	順位
104,788	5.7%	8	65,400	3.5%	12	68,136	3.7%	11
276,562	15.0%	2	267,418	14.2%	2	287,074	15.8%	2
7,438	0.4%	17	11,393	0.6%	16	10,475	0.6%	17
178,682	9.7%	4	170,233	9.0%	4	162,492	8.9%	4
134,569	7.3%	6	126,358	6.7%	6	119,981	6.6%	6
71,342	3.9%	12	99,716	5.3%	9	97,479	5.4%	8
79,044	4.3%	10	73,273	3.9%	10	73,030	4.0%	10
10,272	0.6%	16	10,891	0.6%	17	12,488	0.7%	15
280,989	15.2%	1	351,296	18.7%	1	341,113	18.7%	1
107,470	5.8%	7	105,969	5.6%	8	94,338	5.2%	9
140,506	7.6%	5	141,673	7.5%	5	123,266	6.8%	5
33,109	1.8%	13	37,591	2.0%	13	36,337	2.0%	13
195,082	10.6%	3	179,356	9.5%	3	169,966	9.3%	3
104,660	5.7%	9	108,313	5.8%	7	117,809	6.5%	7
1,648	0.1%	20	4,314	0.2%	19	2,655	0.1%	19
1,841	0.1%	19	22,250	1.2%	15	2,473	0.1%	20
3,110	0.2%	18	3,046	0.2%	20	3,544	0.2%	18
25,319	1.4%	14	27,255	1.4%	14	21,694	1.2%	14
72,800	3.9%	11	66,059	3.5%	11	65,573	3.6%	12
13,520	0.7%	15	9,968	0.5%	18	10,827	0.6%	16
0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
1,049	0.1%	21	873	0.0%	21	1,117	0.1%	21
1,843,797			1,882,645			1,821,866		

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	1,821,866		79,476		4,800	

疾病分類	医療費(千円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※			患者一人当たりの医療費(千円)
	医療費(千円)	構成比(%)	順位	レセプト件数	構成比(%)	順位	患者数	構成比(%)	順位	
I. 感染症及び寄生虫症	68,136	3.7%		6,291	7.9%		1,664	34.7%		41
0101 腸管感染症	3,454	0.2%	79	1,245	1.6%	51	485	10.1%	35	7 108
0102 結核	5,739	0.3%	69	182	0.2%	97	71	1.5%	89	81 27
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	499	0.0%	109	188	0.2%	96	114	2.4%	80	4 115
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	4,867	0.3%	77	1,011	1.3%	56	299	6.2%	49	16 86
0105 ウイルス性肝炎	24,268	1.3%	22	881	1.1%	61	221	4.6%	60	110 24
0106 その他のウイルス性疾患	2,610	0.1%	87	226	0.3%	93	91	1.9%	85	29 60
0107 真菌症	15,975	0.9%	39	1,983	2.5%	38	594	12.4%	29	27 65
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	181	0.0%	114	42	0.1%	110	8	0.2%	116	23 73
0109 その他の感染症及び寄生虫症	10,545	0.6%	47	1,277	1.6%	50	474	9.9%	37	22 75
II. 新生物<腫瘍>	287,074	15.8%		6,609	8.3%		1,681	35.0%		171
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	20,400	1.1%	29	997	1.3%	57	400	8.3%	40	51 38
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	22,266	1.2%	23	979	1.2%	58	391	8.1%	41	57 33
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,664	0.4%	63	128	0.2%	101	23	0.5%	107	290 8
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	7,048	0.4%	60	378	0.5%	84	139	2.9%	73	51 39
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	36,783	2.0%	13	717	0.9%	68	291	6.1%	50	126 20
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	24,897	1.4%	21	602	0.8%	73	108	2.3%	82	231 11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,658	0.4%	64	310	0.4%	88	169	3.5%	69	39 52
0208 悪性リンパ腫	8,307	0.5%	54	120	0.2%	102	30	0.6%	102	277 9
0209 白血病	6,566	0.4%	65	62	0.1%	109	14	0.3%	109	469 2
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876	6.3%	1	2,763	3.5%	30	773	16.1%	20	147 15
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	33,609	1.8%	16	1,766	2.2%	42	699	14.6%	25	48 44
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,475	0.6%		1,529	1.9%		385	8.0%		27
0301 貧血	5,384	0.3%	72	897	1.1%	60	220	4.6%	61	24 70
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,091	0.3%	75	739	0.9%	66	223	4.6%	59	23 72
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	162,492	8.9%		26,354	33.2%		2,362	49.2%		69
0401 甲状腺障害	6,735	0.4%	62	1,840	2.3%	40	486	10.1%	34	14 93
0402 糖尿病	79,208	4.3%	5	11,042	13.9%	4	1,447	30.1%	4	55 36
0403 脂質異常症	60,509	3.3%	7	17,326	21.8%	2	1,347	28.1%	5	45 47
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	16,041	0.9%	38	5,301	6.7%	16	714	14.9%	24	22 74
V. 精神及び行動の障害	119,981	6.6%		6,690	8.4%		644	13.4%		186
0501 血管性及び詳細不明の認知症	11,314	0.6%	42	113	0.1%	103	30	0.6%	102	377 3
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,449	0.2%	80	175	0.2%	98	25	0.5%	105	138 18
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	45,850	2.5%	9	1,787	2.2%	41	123	2.6%	77	373 4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,821,866	79,476	4,800

疾病分類	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)		
											順位	
0504	気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)	30,414	1.7%	17	3,071	3.9%	27	255	5.3%	56	119	22
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	17,893	1.0%	32	3,619	4.6%	24	371	7.7%	42	48	42
0506	知的障害<精神遅滞>	467	0.0%	110	71	0.1%	106	15	0.3%	108	31	56
0507	その他の精神及び行動の障害	10,593	0.6%	46	363	0.5%	86	76	1.6%	87	139	17
VI. 神経系の疾患		97,479	5.4%		12,093	15.2%		1,189	24.8%		82	
0601	パーキンソン病	15,386	0.8%	41	464	0.6%	79	45	0.9%	95	342	5
0602	アルツハイマー病	5,813	0.3%	68	332	0.4%	87	34	0.7%	98	171	13
0603	てんかん	8,738	0.5%	53	1,099	1.4%	55	108	2.3%	82	81	26
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	9,688	0.5%	49	211	0.3%	95	33	0.7%	99	294	7
0605	自律神経系の障害	4,979	0.3%	76	284	0.4%	91	31	0.6%	101	161	14
0606	その他の神経系の疾患	52,875	2.9%	8	10,691	13.5%	5	1,096	22.8%	12	48	41
VII. 眼及び付属器の疾患		73,030	4.0%		9,256	11.6%		1,859	38.7%		39	
0701	結膜炎	6,553	0.4%	66	4,014	5.1%	22	863	18.0%	17	8	106
0702	白内障	15,610	0.9%	40	3,580	4.5%	25	637	13.3%	28	25	69
0703	屈折及び調節の障害	6,857	0.4%	61	7,566	9.5%	7	1,569	32.7%	3	4	116
0704	その他の眼及び付属器の疾患	44,009	2.4%	10	7,255	9.1%	8	1,310	27.3%	6	34	55
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		12,488	0.7%		2,322	2.9%		567	11.8%		22	
0801	外耳炎	896	0.0%	105	575	0.7%	74	167	3.5%	70	5	110
0802	その他の外耳疾患	792	0.0%	106	383	0.5%	83	165	3.4%	71	5	111
0803	中耳炎	2,321	0.1%	90	772	1.0%	64	179	3.7%	67	13	96
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,011	0.1%	103	387	0.5%	82	129	2.7%	76	8	105
0805	メニエール病	1,814	0.1%	98	375	0.5%	85	78	1.6%	86	23	71
0806	その他の内耳疾患	378	0.0%	111	155	0.2%	99	46	1.0%	94	8	104
0807	その他の耳疾患	5,277	0.3%	73	544	0.7%	76	170	3.5%	68	31	57
IX. 循環器系の疾患		341,113	18.7%		27,374	34.4%		2,199	45.8%		155	
0901	高血圧性疾患	89,598	4.9%	3	23,193	29.2%	1	1,670	34.8%	1	54	37
0902	虚血性心疾患	38,129	2.1%	11	4,409	5.5%	18	513	10.7%	32	74	28
0903	その他の心疾患	111,452	6.1%	2	6,195	7.8%	10	877	18.3%	16	127	19
0904	くも膜下出血	1,412	0.1%	101	38	0.0%	111	10	0.2%	111	141	16
0905	脳内出血	21,792	1.2%	24	225	0.3%	94	69	1.4%	90	316	6
0906	脳梗塞	34,594	1.9%	14	2,136	2.7%	36	304	6.3%	47	114	23
0907	脳動脈硬化(症)	13	0.0%	118	1	0.0%	121	1	0.0%	120	13	95
0908	その他の脳血管疾患	20,164	1.1%	30	748	0.9%	65	232	4.8%	58	87	25
0909	動脈硬化(症)	5,615	0.3%	70	1,124	1.4%	54	268	5.6%	54	21	77
0911	低血圧(症)	44	0.0%	116	13	0.0%	117	3	0.1%	117	15	90
0912	その他の循環器系の疾患	18,299	1.0%	31	1,567	2.0%	44	281	5.9%	53	65	32
X. 呼吸器系の疾患		94,338	5.2%		14,814	18.6%		2,731	56.9%		35	
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	938	0.1%	104	927	1.2%	59	363	7.6%	45	3	117
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,381	0.2%	81	1,866	2.3%	39	732	15.3%	23	5	113
1003	その他の急性上気道感染症	7,976	0.4%	57	3,842	4.8%	23	1,051	21.9%	13	8	107

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,821,866	79,476	4,800

疾病分類	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)	順位
1004 肺炎	8,044	0.4%	56	679	0.9%	71	285	5.9%	52	28	62
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,192	0.3%	74	2,459	3.1%	33	911	19.0%	15	6	109
1006 アレルギー性鼻炎	16,721	0.9%	35	6,629	8.3%	9	1,307	27.2%	8	13	98
1007 慢性副鼻腔炎	3,503	0.2%	78	2,083	2.6%	37	416	8.7%	38	8	103
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,246	0.1%	91	1,657	2.1%	43	480	10.0%	36	5	112
1009 慢性閉塞性肺疾患	7,551	0.4%	58	1,208	1.5%	53	196	4.1%	65	39	53
1010 喘息	17,112	0.9%	33	3,540	4.5%	26	681	14.2%	27	25	68
1011 その他の呼吸器系の疾患	21,672	1.2%	27	3,041	3.8%	28	1,101	22.9%	11	20	80
X I. 消化器系の疾患	123,266	6.8%		20,640	26.0%		2,378	49.5%		52	
1101 う蝕	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	2	0.0%	121	6	0.0%	118	1	0.0%	120	2	121
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	25	0.0%	117	14	0.0%	116	10	0.2%	111	3	119
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10,968	0.6%	44	4,056	5.1%	21	534	11.1%	31	21	78
1105 胃炎及び十二指腸炎	16,915	0.9%	34	8,341	10.5%	6	1,234	25.7%	9	14	94
1106 痔核	1,854	0.1%	97	571	0.7%	75	131	2.7%	74	14	92
1107 アルコール性肝疾患	1,641	0.1%	100	151	0.2%	100	24	0.5%	106	68	30
1108 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1,660	0.1%	99	469	0.6%	78	66	1.4%	91	25	67
1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	2,089	0.1%	95	389	0.5%	81	58	1.2%	93	36	54
1110 その他の肝疾患	3,218	0.2%	84	1,403	1.8%	47	369	7.7%	44	9	102
1111 胆石症及び胆のう炎	8,852	0.5%	51	691	0.9%	70	208	4.3%	63	43	49
1112 膵疾患	3,186	0.2%	85	306	0.4%	89	75	1.6%	88	42	50
1113 その他の消化器系の疾患	72,856	4.0%	6	13,842	17.4%	3	1,646	34.3%	2	44	48
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	36,337	2.0%		8,456	10.6%		1,722	35.9%		21	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	3,334	0.2%	82	736	0.9%	67	258	5.4%	55	13	97
1202 皮膚炎及び湿疹	16,642	0.9%	36	5,457	6.9%	15	1,113	23.2%	10	15	89
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	16,361	0.9%	37	4,190	5.3%	20	1,019	21.2%	14	16	87
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966	9.3%		20,855	26.2%		2,226	46.4%		76	
1301 炎症性多発性関節障害	26,975	1.5%	18	2,920	3.7%	29	401	8.4%	39	67	31
1302 関節症	38,099	2.1%	12	5,701	7.2%	14	754	15.7%	22	51	40
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	21,678	1.2%	26	5,713	7.2%	13	765	15.9%	21	28	61
1304 椎間板障害	10,151	0.6%	48	1,445	1.8%	46	250	5.2%	57	41	51
1305 頸腕症候群	2,097	0.1%	94	1,397	1.8%	48	197	4.1%	64	11	101
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	11,063	0.6%	43	5,021	6.3%	17	699	14.6%	25	16	88
1307 その他の脊柱障害	1,898	0.1%	96	648	0.8%	72	130	2.7%	75	15	91
1308 肩の傷害<損傷>	5,887	0.3%	67	2,471	3.1%	32	349	7.3%	46	17	83
1309 骨の密度及び構造の障害	26,958	1.5%	19	5,756	7.2%	12	587	12.2%	30	46	45
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	25,160	1.4%	20	4,392	5.5%	19	849	17.7%	18	30	58

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,821,866	79,476	4,800

疾病分類	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	117,809	6.5%		6,596	8.3%		1,192	24.8%		99	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	8,759	0.5%	52	830	1.0%	63	182	3.8%	66	48	43
1402 腎不全	79,490	4.4%	4	1,214	1.5%	52	117	2.4%	79	679	1
1403 尿路結石症	3,304	0.2%	83	532	0.7%	77	154	3.2%	72	21	76
1404 その他の腎尿路系の疾患	8,238	0.5%	55	2,147	2.7%	35	493	10.3%	33	17	84
1405 前立腺肥大(症)	9,481	0.5%	50	1,521	1.9%	45	209	4.4%	62	45	46
1406 その他の男性生殖器の疾患	643	0.0%	107	232	0.3%	92	59	1.2%	92	11	100
1407 月経障害及び閉経周期障害	2,332	0.1%	89	871	1.1%	62	118	2.5%	78	20	79
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	5,561	0.3%	71	716	0.9%	69	304	6.3%	47	18	81
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	2,655	0.1%		132	0.2%		42	0.9%		63	
1501 流産	218	0.0%	113	22	0.0%	113	12	0.3%	110	18	82
1502 妊娠高血圧症候群	5	0.0%	120	3	0.0%	120	2	0.0%	119	3	118
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	2,432	0.1%	88	108	0.1%	104	33	0.7%	99	74	29
XVI. 周産期に発生した病態	2,473	0.1%		34	0.0%		17	0.4%		145	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	254	0.0%	112	17	0.0%	115	9	0.2%	115	28	63
1602 その他の周産期に発生した病態	2,219	0.1%	92	18	0.0%	114	10	0.2%	111	22	12
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,544	0.2%		306	0.4%		115	2.4%		31	
1701 心臓の先天奇形	567	0.0%	108	26	0.0%	112	10	0.2%	111	57	34
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	2,977	0.2%	86	288	0.4%	90	109	2.3%	81	27	64
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1.2%		6,136	7.7%		1,310	27.3%		17	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1.2%	25	6,136	7.7%	11	1,310	27.3%	6	17	85
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	65,573	3.6%		3,676	4.6%		1,012	21.1%		65	
1901 骨折	34,581	1.9%	15	1,340	1.7%	49	286	6.0%	51	121	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,206	0.1%	93	71	0.1%	106	39	0.8%	96	57	35
1903 熱傷及び腐食	7,409	0.4%	59	69	0.1%	108	30	0.6%	102	247	10
1904 中毒	172	0.0%	115	85	0.1%	105	38	0.8%	97	5	114
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	21,204	1.2%	28	2,562	3.2%	31	825	17.2%	19	26	66
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,827	0.6%		2,376	3.0%		374	7.8%		29	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	5	0.0%	119	4	0.0%	119	3	0.1%	117	2	120
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1, 821, 866	79, 476	4, 800

疾病分類		医療費(千円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※			患者一人当たりの医療費(千円)	
		医療費(千円)	構成比(%)	順位	レセプト件数	構成比(%)	順位	患者数	構成比(%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	10, 822	0.6%	45	2, 372	3.0%	34	371	7.7%	42	29	59
X X II. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1, 117	0.1%		453	0.6%		97	2.0%		12	
9999	分類外	1, 117	0.1%	102	453	0.6%	80	97	2.0%	84	12	99

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(千円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876	6.3%	773
2	0903 その他の心疾患	111,452	6.1%	877
3	0901 高血圧性疾患	89,598	4.9%	1,670
4	1402 腎不全	79,490	4.4%	117
5	0402 糖尿病	79,208	4.3%	1,447
6	1113 その他の消化器系の疾患	72,856	4.0%	1,646
7	0403 脂質異常症	60,509	3.3%	1,347
8	0606 その他の神経系の疾患	52,875	2.9%	1,096
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	45,850	2.5%	123
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	44,009	2.4%	1,310

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(千円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	89,598	1,670	34.8%
2	1113 その他の消化器系の疾患	72,856	1,646	34.3%
3	0703 屈折及び調節の障害	6,857	1,569	32.7%
4	0402 糖尿病	79,208	1,447	30.1%
5	0403 脂質異常症	60,509	1,347	28.1%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	44,009	1,310	27.3%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1,310	27.3%
8	1006 アレルギー性鼻炎	16,721	1,307	27.2%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	16,915	1,234	25.7%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	16,642	1,113	23.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類 (中分類)	医療費(千円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(千円)
1	1402 腎不全	79,490	117	679
2	0209 白血病	6,566	14	469
3	0501 血管性及び詳細不明の認知症	11,314	30	377
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	45,850	123	373
5	0601 パーキンソン病	15,386	45	342
6	0905 脳内出血	21,792	69	316
7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	9,688	33	294
8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,664	23	290
9	0208 悪性リンパ腫	8,307	30	277
10	1903 熱傷及び腐食	7,409	30	247

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、平成25年度から平成29年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類 (中分類)	医療費(千円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成25年度	1	0901 高血圧性疾患	103,444	6.5%	1,636
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	76,164	4.8%	725
	3	0402 糖尿病	75,682	4.8%	1,290
	4	0903 その他の心疾患	74,271	4.7%	809
	5	1113 その他の消化器系の疾患	70,258	4.4%	1,447
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	68,683	4.3%	115
	7	0403 脂質異常症	60,807	3.8%	1,300
	8	1402 腎不全	60,212	3.8%	90
	9	0902 虚血性心疾患	48,578	3.1%	500
	10	0606 その他の神経系の疾患	38,890	2.5%	1,061
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	99,078	5.9%	1,723
	2	0402 糖尿病	77,272	4.6%	1,336
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	76,663	4.6%	775
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	71,415	4.2%	126
	5	0903 その他の心疾患	63,560	3.8%	883
	6	0403 脂質異常症	61,877	3.7%	1,367
	7	1113 その他の消化器系の疾患	60,895	3.6%	1,603
	8	1402 腎不全	60,735	3.6%	90
	9	0606 その他の神経系の疾患	58,470	3.5%	1,083
	10	1302 関節症	45,141	2.7%	697
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	109,457	5.9%	871
	2	0901 高血圧性疾患	101,144	5.5%	1,734
	3	0402 糖尿病	86,128	4.7%	1,473
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	73,144	4.0%	132
	5	1113 その他の消化器系の疾患	71,622	3.9%	1,748
	6	0105 ウイルス性肝炎	67,420	3.7%	213
	7	0403 脂質異常症	65,674	3.6%	1,434
	8	1402 腎不全	65,176	3.5%	114
	9	0903 その他の心疾患	64,323	3.5%	930
	10	1302 関節症	51,873	2.8%	688

年度	順位	疾病分類（中分類）	医療費(千円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成28年度	1	0903 その他の心疾患	92,905	4.9%	879
	2	0901 高血圧性疾患	91,166	4.8%	1,699
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	86,258	4.6%	811
	4	0402 糖尿病	81,730	4.3%	1,469
	5	1113 その他の消化器系の疾患	80,759	4.3%	1,723
	6	1402 腎不全	66,964	3.6%	130
	7	0403 脂質異常症	61,271	3.3%	1,382
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	58,320	3.1%	134
	9	0606 その他の神経系の疾患	56,359	3.0%	1,099
	10	1302 関節症	52,476	2.8%	707
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876	6.3%	773
	2	0903 その他の心疾患	111,452	6.1%	877
	3	0901 高血圧性疾患	89,598	4.9%	1,670
	4	1402 腎不全	79,490	4.4%	117
	5	0402 糖尿病	79,208	4.3%	1,447
	6	1113 その他の消化器系の疾患	72,856	4.0%	1,646
	7	0403 脂質異常症	60,509	3.3%	1,347
	8	0606 その他の神経系の疾患	52,875	2.9%	1,096
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	45,850	2.5%	123
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	44,009	2.4%	1,310

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者数上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類 (中分類)	医療費(千円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成25年度	1	0703 屈折及び調節の障害	8,640	1,799	35.6%
	2	0901 高血圧性疾患	103,444	1,636	32.4%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	70,258	1,447	28.6%
	4	0704 その他の眼及び付属器の疾患	35,543	1,394	27.6%
	5	0403 脂質異常症	60,807	1,300	25.7%
	6	0402 糖尿病	75,682	1,290	25.5%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	19,000	1,209	23.9%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,870	1,130	22.4%
	9	0606 その他の神経系の疾患	38,890	1,061	21.0%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	12,453	971	19.2%
平成26年度	1	0703 屈折及び調節の障害	9,308	1,793	35.1%
	2	0901 高血圧性疾患	99,078	1,723	33.7%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	60,895	1,603	31.4%
	4	0704 その他の眼及び付属器の疾患	43,516	1,448	28.3%
	5	0403 脂質異常症	61,877	1,367	26.8%
	6	0402 糖尿病	77,272	1,336	26.1%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	19,899	1,330	26.0%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	25,546	1,245	24.4%
	9	1006 アレルギー性鼻炎	14,989	1,212	23.7%
	10	0606 その他の神経系の疾患	58,470	1,083	21.2%
平成27年度	1	1113 その他の消化器系の疾患	71,622	1,748	33.5%
	2	0901 高血圧性疾患	101,144	1,734	33.3%
	3	0703 屈折及び調節の障害	8,199	1,727	33.1%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	21,581	1,475	28.3%
	5	0402 糖尿病	86,128	1,473	28.3%
	6	0403 脂質異常症	65,674	1,434	27.5%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	44,947	1,398	26.8%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	25,319	1,369	26.3%
	9	1006 アレルギー性鼻炎	17,167	1,310	25.1%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	16,304	1,238	23.7%

年度	順位	疾病分類（中分類）	医療費(千円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成28年度	1	1113 その他の消化器系の疾患	80,759	1,723	34.4%
	2	0901 高血圧性疾患	91,166	1,699	33.9%
	3	0703 屈折及び調節の障害	7,466	1,649	32.9%
	4	0402 糖尿病	81,730	1,469	29.3%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	20,541	1,412	28.2%
	6	0403 脂質異常症	61,271	1,382	27.6%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	41,020	1,363	27.2%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,255	1,349	26.9%
	9	1006 アレルギー性鼻炎	15,127	1,260	25.1%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	17,847	1,206	24.1%
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	89,598	1,670	34.8%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	72,856	1,646	34.3%
	3	0703 屈折及び調節の障害	6,857	1,569	32.7%
	4	0402 糖尿病	79,208	1,447	30.1%
	5	0403 脂質異常症	60,509	1,347	28.1%
	6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	44,009	1,310	27.3%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1,310	27.3%
	8	1006 アレルギー性鼻炎	16,721	1,307	27.2%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	16,915	1,234	25.7%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	16,642	1,113	23.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類 (中分類)	患者一人当たりの医療費(千円)
平成25年度	1	0904 くも膜下出血	1,175
	2	0209 白血病	777
	3	0501 血管性及び詳細不明の認知症	715
	4	1402 腎不全	669
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	597
	6	0208 悪性リンパ腫	423
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	311
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	241
	9	0601 パーキンソン病	229
	10	0905 脳内出血	203
平成26年度	1	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	709
	2	1402 腎不全	675
	3	0904 くも膜下出血	590
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	567
	5	0209 白血病	464
	6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	453
	7	0208 悪性リンパ腫	425
	8	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	281
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	266
	10	0601 パーキンソン病	253
平成27年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	914
	2	0209 白血病	661
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	593
	4	1402 腎不全	572
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	554
	6	0904 くも膜下出血	532
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	401
	8	0105 ウイルス性肝炎	317
	9	0601 パーキンソン病	247
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	220

年度	順位	疾病分類（中分類）	患者一人当たりの医療費(千円)
平成28年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,363
	2	0904 くも膜下出血	856
	3	0501 血管性及び詳細不明の認知症	715
	4	1602 その他の周産期に発生した病態	604
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	552
	6	1402 腎不全	515
	7	0208 悪性リンパ腫	487
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	435
	9	0209 白血病	399
	10	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	354
平成29年度	1	1402 腎不全	679
	2	0209 白血病	469
	3	0501 血管性及び詳細不明の認知症	377
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	373
	5	0601 パーキンソン病	342
	6	0905 脳内出血	316
	7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	294
	8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	290
	9	0208 悪性リンパ腫	277
	10	1903 熱傷及び腐食	247

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

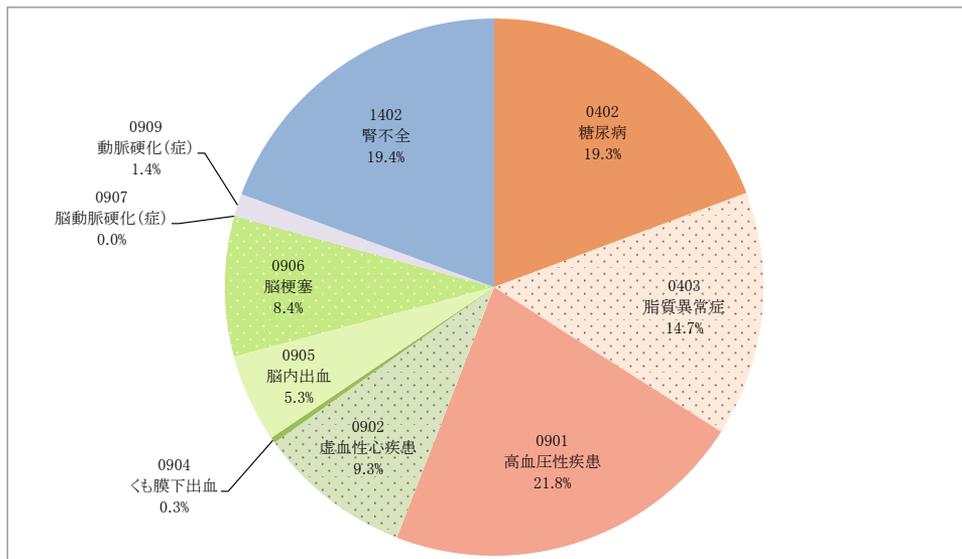
(4) 生活習慣病に係る医療費

平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出しました。糖尿病医療費は7,921万円、脂質異常症医療費は6,051万円、高血圧性疾患医療費は8,960万円となります。

生活習慣病医療費

疾病分類 (中分類)	医療費(千円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(千円)
0402 糖尿病	79,208	1,447	55
0403 脂質異常症	60,509	1,347	45
0901 高血圧性疾患	89,598	1,670	54
0902 虚血性心疾患	38,129	513	74
0904 くも膜下出血	1,412	10	141
0905 脳内出血	21,792	69	316
0906 脳梗塞	34,594	304	114
0907 脳動脈硬化(症)	13	1	13
0909 動脈硬化(症)	5,615	268	21
1402 腎不全	79,490	117	679
計	410,360	5,746	71

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、平成25年度から平成29年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。平成29年度を平成25年度と比較すると、糖尿病医療費7,921万円は、平成25年度7,568万円より353万円増加しています。また、脂質異常症医療費6,051万円は、平成25年度6,081万円より30万円減少しています。高血圧性疾患医療費8,960万円は、平成25年度1億344万円より1,384万円減少しています。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類（中分類）		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		医療費(千円) ※	構成比(%)	医療費(千円) ※	構成比(%)	医療費(千円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	75,682	18.6%	77,272	20.6%	86,128	21.0%
0403	脂質異常症	60,807	14.9%	61,877	16.5%	65,674	16.0%
0901	高血圧性疾患	103,444	25.4%	99,078	26.4%	101,144	24.7%
0902	虚血性心疾患	48,578	11.9%	37,513	10.0%	50,733	12.4%
0904	くも膜下出血	11,750	2.9%	5,310	1.4%	5,856	1.4%
0905	脳内出血	12,156	3.0%	11,243	3.0%	2,874	0.7%
0906	脳梗塞	27,484	6.7%	16,533	4.4%	23,445	5.7%
0907	脳動脈硬化（症）	64	0.0%	35	0.0%	24	0.0%
0909	動脈硬化（症）	7,355	1.8%	5,961	1.6%	8,335	2.0%
1402	腎不全	60,212	14.8%	60,735	16.2%	65,176	15.9%
合計		407,530		375,558		409,388	

疾病分類（中分類）		平成28年度		平成29年度	
		医療費(千円) ※	構成比(%)	医療費(千円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	81,730	19.3%	79,208	19.3%
0403	脂質異常症	61,271	14.5%	60,509	14.7%
0901	高血圧性疾患	91,166	21.6%	89,598	21.8%
0902	虚血性心疾患	50,174	11.9%	38,129	9.3%
0904	くも膜下出血	11,128	2.6%	1,412	0.3%
0905	脳内出血	18,558	4.4%	21,792	5.3%
0906	脳梗塞	34,682	8.2%	34,594	8.4%
0907	脳動脈硬化（症）	11	0.0%	13	0.0%
0909	動脈硬化（症）	6,803	1.6%	5,615	1.4%
1402	腎不全	66,964	15.8%	79,490	19.4%
合計		422,486		410,360	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

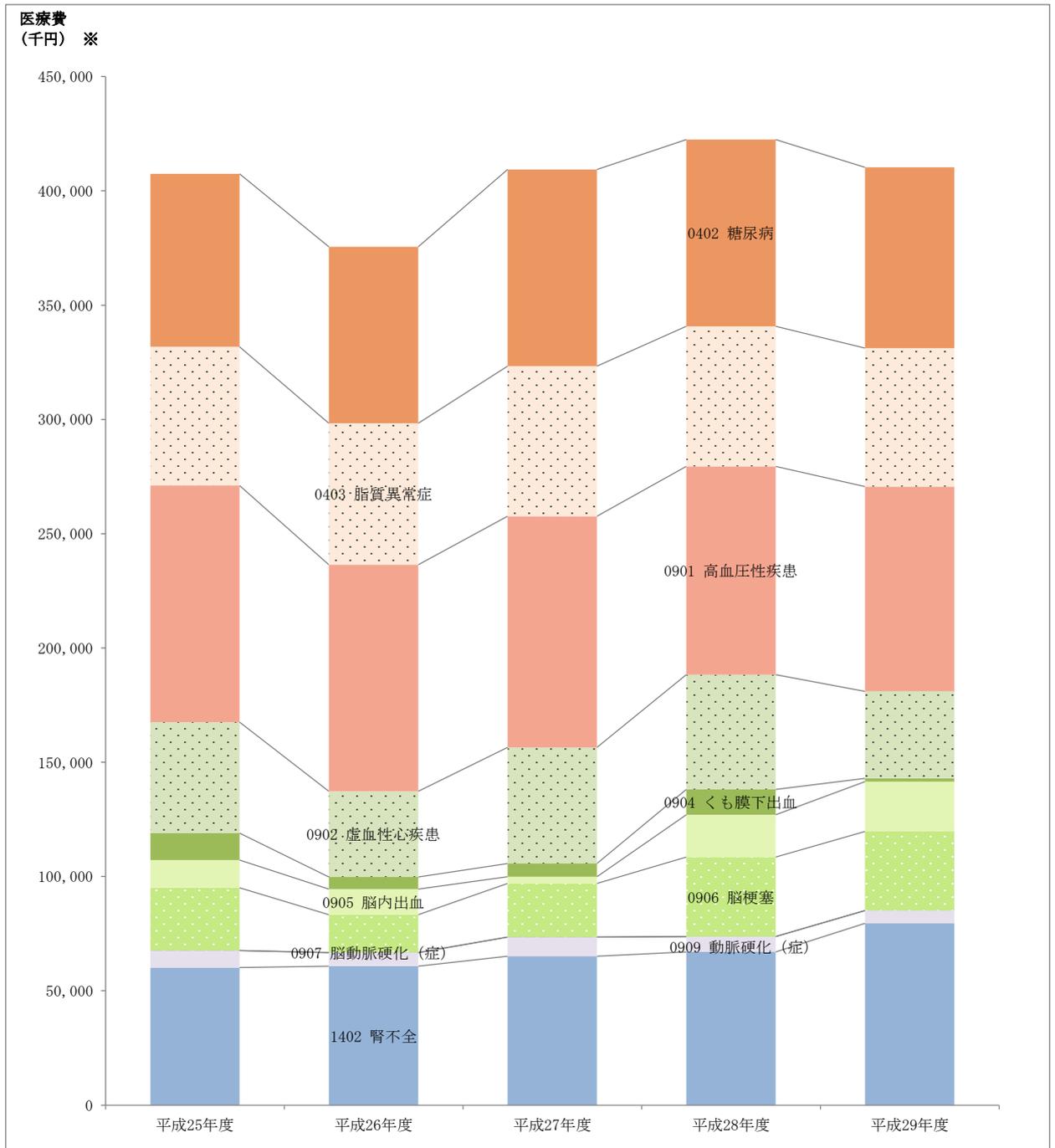
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

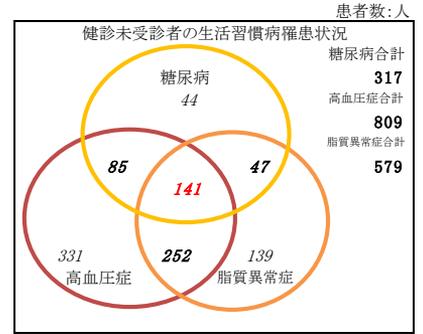
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(5) 生活習慣病患者の特定健診受診状況別罹患状況と医療費

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(千円) ※		医療費合計 (千円)	一人当たり 医療費(千円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	141	59,879	86,386	146,266	1,037
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	85	29,226	59,912	89,138	1,049
	糖尿病・脂質異常症	47	5,771	19,036	24,808	528
	高血圧症・脂質異常症	252	56,041	100,418	156,459	621
	合計	384	91,038	179,366	270,404	704
1疾病患者	糖尿病	44	10,883	21,305	32,188	732
	高血圧症	331	94,083	126,890	220,973	668
	脂質異常症	139	15,604	44,396	59,999	432
	合計	514	120,570	192,591	313,161	609

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

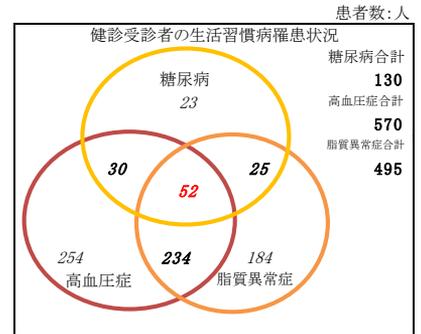
資格確認日…平成30年3月31日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(千円) ※		医療費合計 (千円)	一人当たり 医療費(千円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	52	17,590	28,302	45,892	883
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	30	440	8,164	8,604	287
	糖尿病・脂質異常症	25	2,564	9,730	12,294	492
	高血圧症・脂質異常症	234	23,206	73,011	96,217	411
	合計	289	26,210	90,905	117,115	405
1疾病患者	糖尿病	23	3,232	6,113	9,345	406
	高血圧症	254	26,217	68,910	95,127	375
	脂質異常症	184	14,895	43,582	58,477	318
	合計	461	44,344	118,605	162,949	353

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年3月31日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(6) 人工透析に係る分析

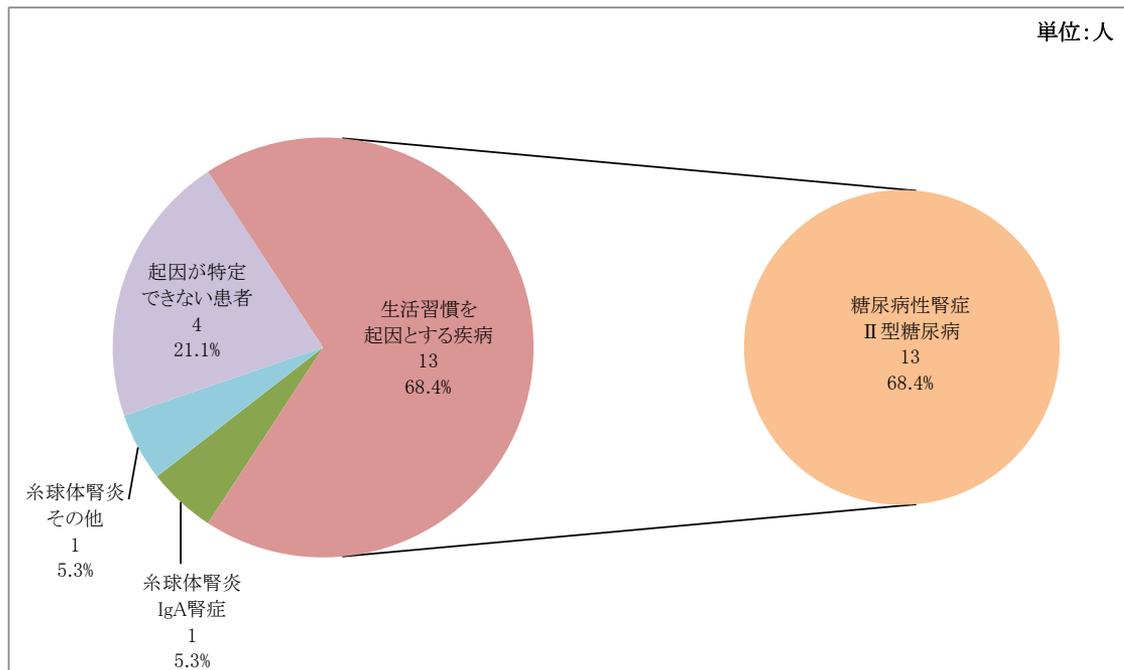
人工透析患者の分析結果を以下に示します。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、68.4%が生活習慣を起因とするものであり、その68.4%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	18
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

以下は、平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)における分析結果を示したものです。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	循環器系の疾患	341,113千円	18.7%
2位	新生物<腫瘍>	287,074千円	15.8%
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966千円	9.3%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	2,731人
2位	消化器系の疾患	2,378人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,362人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	186千円
2位	新生物<腫瘍>	171千円
3位	循環器系の疾患	155千円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876千円	6.3%
2位	その他の心疾患	111,452千円	6.1%
3位	高血圧性疾患	89,598千円	4.9%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	1,670人
2位	その他の消化器系の疾患	1,646人
3位	屈折及び調節の障害	1,569人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	679千円
2位	白血病	469千円
3位	血管性及び詳細不明の認知症	377千円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	573件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	31.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	真菌症	14,114千円
2位	熱傷及び腐食	7,747千円
3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,007千円

以下は、平成25年度から平成29年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示したものです。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成25年度	1位	循環器系の疾患	303,019千円	19.2%
	2位	新生物<腫瘍>	230,722千円	14.6%
	3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	155,600千円	9.9%
平成26年度	1位	循環器系の疾患	266,799千円	15.8%
	2位	新生物<腫瘍>	248,179千円	14.7%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	175,822千円	10.4%
平成27年度	1位	循環器系の疾患	280,989千円	15.2%
	2位	新生物<腫瘍>	276,562千円	15.0%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	195,082千円	10.6%
平成28年度	1位	循環器系の疾患	351,296千円	18.7%
	2位	新生物<腫瘍>	267,418千円	14.2%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	179,356千円	9.5%
平成29年度	1位	循環器系の疾患	341,113千円	18.7%
	2位	新生物<腫瘍>	287,074千円	15.8%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966千円	9.3%

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成 25 年度	1位	高血圧性疾患	103,444千円	6.5%
	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	76,164千円	4.8%
	3位	糖尿病	75,682千円	4.8%
平成 26 年度	1位	高血圧性疾患	99,078千円	5.9%
	2位	糖尿病	77,272千円	4.6%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	76,663千円	4.6%
平成 27 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	109,457千円	5.9%
	2位	高血圧性疾患	101,144千円	5.5%
	3位	糖尿病	86,128千円	4.7%
平成 28 年度	1位	その他の心疾患	92,905千円	4.9%
	2位	高血圧性疾患	91,166千円	4.8%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	86,258千円	4.6%
平成 29 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876千円	6.3%
	2位	その他の心疾患	111,452千円	6.1%
	3位	高血圧性疾患	89,598千円	4.9%

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 25 年度	高額レセプト件数	423件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	26.3%
平成 26 年度	高額レセプト件数	453件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	26.0%
平成 27 年度	高額レセプト件数	530件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	29.7%
平成 28 年度	高額レセプト件数	594件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	33.6%
平成 29 年度	高額レセプト件数	573件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31.8%

【高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向】

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの 医療費
平成 25 年度	1位	くも膜下出血	8,727千円
	2位	脳内出血	6,424千円
	3位	結腸の悪性新生物<腫瘍>	6,243千円
平成 26 年度	1位	その他の神経系の疾患	8,684千円
	2位	その他の精神及び行動の障害	8,230千円
	3位	腎不全	5,347千円
平成 27 年度	1位	くも膜下出血	10,124千円
	2位	その他の精神及び行動の障害	7,371千円
	3位	ウイルス性肝炎	6,732千円
平成 28 年度	1位	その他の感染症及び寄生虫症	9,860千円
	2位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,161千円
	3位	慢性閉塞性肺疾患	7,249千円
平成 29 年度	1位	真菌症	14,114千円
	2位	熱傷及び腐食	7,747千円
	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,007千円

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

課題と対策

(1) 特定健診の受診率から見えてくる課題

特定健診の受診率は経年で上昇し、県平均より高く、平成29年度の市町村順位は県内第10位です。しかし、特定保健指導実施率は平成27年度より減少傾向にあり、国の目標である受診率70%、特定保健指導率45%には達していません。

生活習慣病予備軍の早期発見、生活習慣改善に係る知識の普及や受診勧奨、特定保健指導を行うには、特定健診の受診率の向上を図る必要があります。

(2) 医療費分析等から見えてくる課題

①大分類による疾病別医療費統計では平成25年度から平成29年まで循環器系の疾患が1位を占めています。

②中分類による疾病別統計、医療費上位では平成25年度より循環器系の疾患である高血圧性疾患・その他の心疾患の2疾病が上位に入り、内分泌、栄養及び代謝疾患である糖尿病は各年度とも上位5位以内に入っています。腎不全においては、平成29年度4位と過去からも順位の上昇がみられ、医療費や医療費割合の上昇も認められました。

③生活習慣病にかかる医療費分析を見ると、糖尿病、脂質異常症、高血圧症などは患者数が多く、1人当たり医療費は低いのに対し、生活習慣病が重症化し、進行して発症したと思われる脳内出血、脳梗塞、腎不全は高額な医療費が発生しています。

④県内近隣9市町との被保険者一人当たりの医療費順を見ると、本町が1位または2位である傾向が続いていることがわかりました。特に調剤費について一番調剤費の低い町と比較して1.6倍程度の開きがあることがわかりました。

以上のことより、生活習慣病である高血圧症、脂質異常症、糖尿病の段階での疾病コントロールが重要であります。また、糖尿病より腎不全に移行し透析の導入を回避するためにも、糖尿病で医療機関にかかりながらもコントロール不良の対象者に対して、医療機関と連携した糖尿病性腎症重症化予防の保健指導介入が必要であります。また、一度指導を行った対象者に対し、改善された生活習慣が継続されているか検査値の変化がどうなっているかといった保健指導後の対象者へのフォローのために糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業を実施することが重要です。その他、調剤費の適正化を図るため、併用禁忌情報の共有、多剤通知、残薬バッグの普及促進など薬に関する事業を実施する必要があります。

対象となる事業

- ① 特定健診・特定保健指導事業
- ② 健診異常値放置者受診勧奨事業
- ③ 糖尿病性腎症重症化予防事業
- ④ 糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業
- ⑤ 調剤費適正化事業【新規】

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

以下は、第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を示したものです。

事業名	事業目的	事業概要およびプロセス	ストラクチャー 実施体制
特定健診・ 特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健診の未受診者に対し、過去の検査結果を記載した通知書を送付し特定健診への受診勧奨を行う。	王寺町 国保事務支援センター
健診異常値放置者 受診勧奨事業 (イエローカード)	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健診の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで医療機関への受診勧奨を行う。	王寺町 国保事務支援センター
糖尿病性腎症 重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職により対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行う。 指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。	王寺町
糖尿病性腎症 重症化予防 継続サポート事業	糖尿病性腎症重症化予防指導を受けた方への継続フォロー	糖尿病性腎症重症化予防指導を受けていただいた方を対象として保健師が年3回程度を目処に電話サポートを行う。 電話では健康状態・生活習慣の確認の他、特定健診・健康診査等の受診勧奨、保健センターの事業への参加呼びかけ等を行う。	王寺町
調剤費適正化事業 【新規】	被保険者の多剤服薬等の見直しによる調剤費の適正化	多剤服薬が疑われる方に対して、通知または残薬バッグを配布する。	王寺町 国保事務支援センター

アウトプット		アウトカム		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
<p>～特定健診～ 通知対象者のグループ分けは最適か</p> <p>対象者への通知率 100%</p> <p>～特定保健指導～ 対象者への声かけ率 100% (保健指導の対象となった方へ何らかの形で必ず連絡を取る)</p>		<p>健診受診率 50.1%</p> <p>保健指導実施率 44.0%</p>	<p>健診受診率 60.0%</p> <p>保健指導実施率 60.0%</p>	法定報告で確認
		※第3期特定健康診査等実施計画より		
<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>対象者への通知率 100%</p> <p>通知後の受診状況を確認できたか</p>		<p>対象者が前年度よりも減少しているか</p>		レセプトデータで確認
<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>指導実施者のうち、指導プログラムを最後まで継続できた方の割合80%以上</p>		<p><指導プログラム完了後> HbA1cの値が改善されたか</p> <p>eGFRの値が維持または改善されたか</p> <p>生活習慣(BMI)が改善されたか</p>		対象者の指導前、指導後の検査値で確認
<p>指導後の患者へ連絡をし状況を確認できたか</p>		<p>指導プログラムを最後まで継続された方のうち、人工透析に移行される方が0人</p>		電話サポート時の聞き取り状況で確認
<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>対象者に応じた対応ができたか</p>		<p>対象者の多剤服薬等の状況が改善されたか</p>		レセプトデータで確認

(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業（イエローカード）

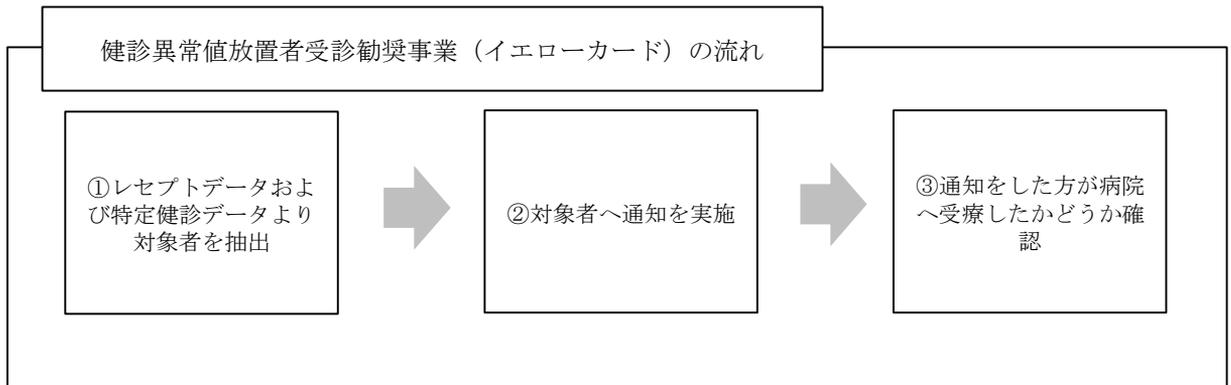
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【事業概要】

特定健診の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで医療機関への受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
事業に最適な対象者が抽出できたか 対象者への通知率 100% 通知後の受診状況を確認できたか	対象者が前年度よりも減少しているか	レセプトデータで確認

【実施スケジュール】 2020年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール															
2019年												2020年			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
						← 対象者抽出 →									
										●					
										通知					
													← 受療確認 →		

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

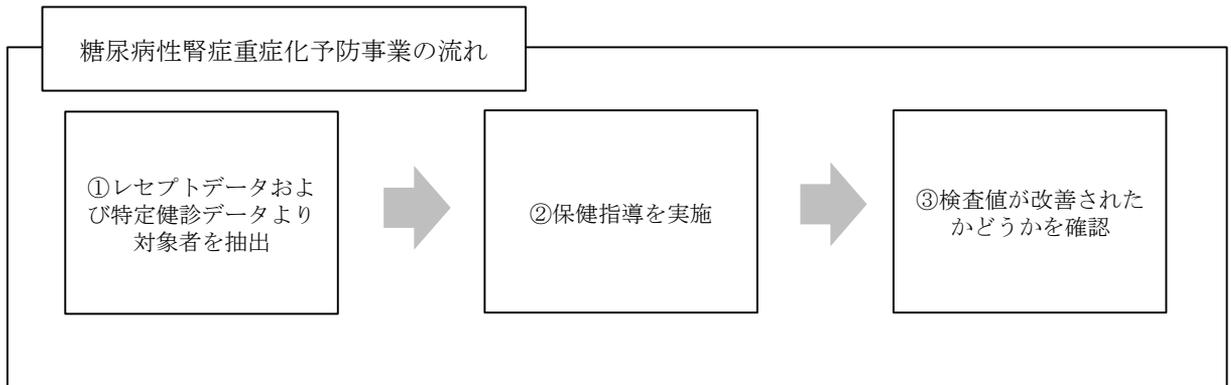
【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

【事業概要】

特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職により対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
事業に最適な対象者が抽出できたか	<指導プログラム完了後> HbA1cの値が改善されたか	対象者の指導前、指導後の検査値で確認
指導実施者のうち、指導プログラムを最後まで継続できた方の割合80%以上	eGFRの値が維持または改善されたか	
	生活習慣(BMI)が改善されたか	

【実施スケジュール】 2020年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール																
2019年												2020年				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
						対象者抽出										
									保健指導実施							

(4) 糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業

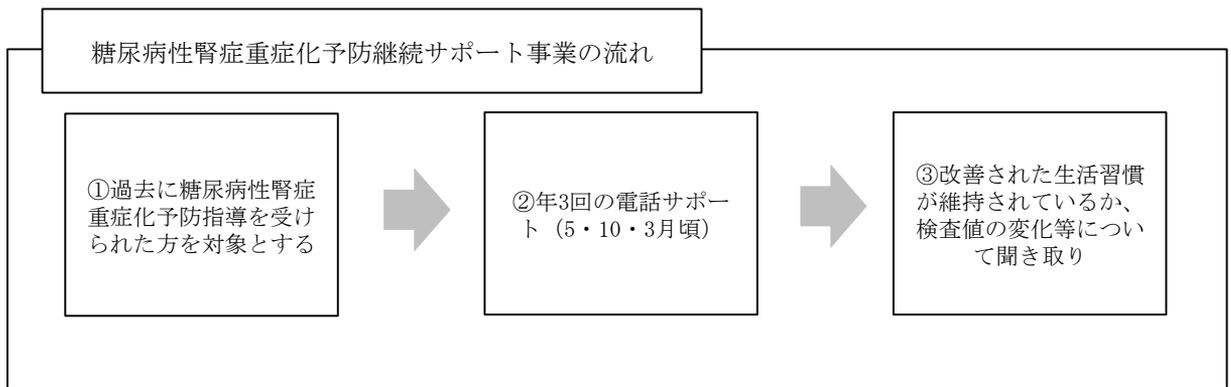
【事業目的】

糖尿病性腎症重症化予防指導を受けられた方への継続フォロー

【事業概要】

糖尿病性腎症重症化予防指導を受けていただいた方を対象として保健師が年3回を目処に電話サポートを行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

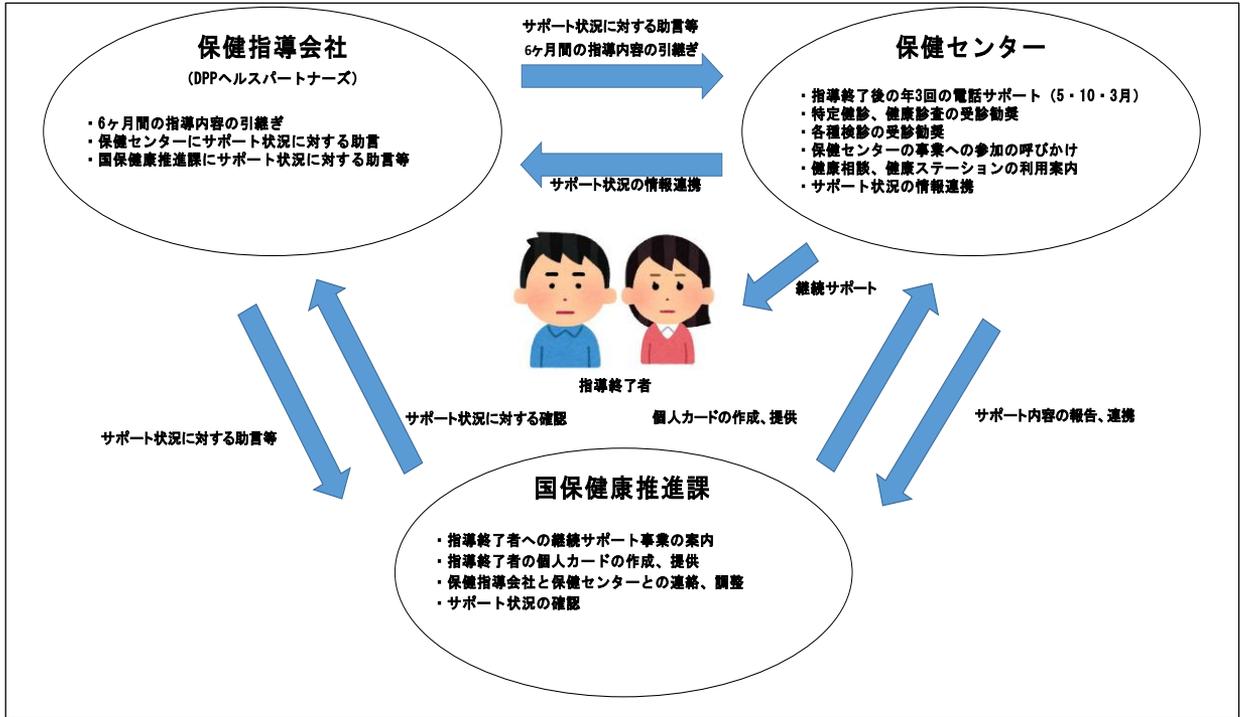
アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
指導後の患者へ連絡をし状況を確認できたか	指導プログラムを最後まで継続された方のうち、人工透析に移行される方が0人	電話サポート時の聞き取り状況で確認

【実施スケジュール】 2020年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
2019年												2020年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				電話					電話					電話
				↔					↔					↔

【事業体制図】



【個人カード】

サポート実施後、個人カードに対象者の状況を記載します。

糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業 (個人カード)			
氏名		性別	生年月日
住所		医療機関	
電話番号 (時間帯)	※日中に連絡が取りやすい番号		
プログラム参加期間			
【長期目標】			
【指導総括】 (セルフモニタリング)			
(食事)			
(運動)			
(飲酒)			
(その他)			

糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業 (個人カード)			
連絡日	平成 年 月 日	連絡者	
【検査値の推移】 (プログラム終了時)			
体重	kg	体重	kg
収縮期血圧	mmHg	収縮期血圧	mmHg
拡張期血圧	mmHg	拡張期血圧	mmHg
血清クレアチニン	mg/dL	血清クレアチニン	mg/dL
eGFR	mL/min	eGFR	mL/min
尿蛋白	- ± + 2+ 3+	尿蛋白	- ± + 2+ 3+
HbA1c	%	HbA1c	%
空腹時血糖	mg/dL	空腹時血糖	mg/dL
【生活状況】			
【かかりつけ医からの指示事項】			
【サポート内容】			

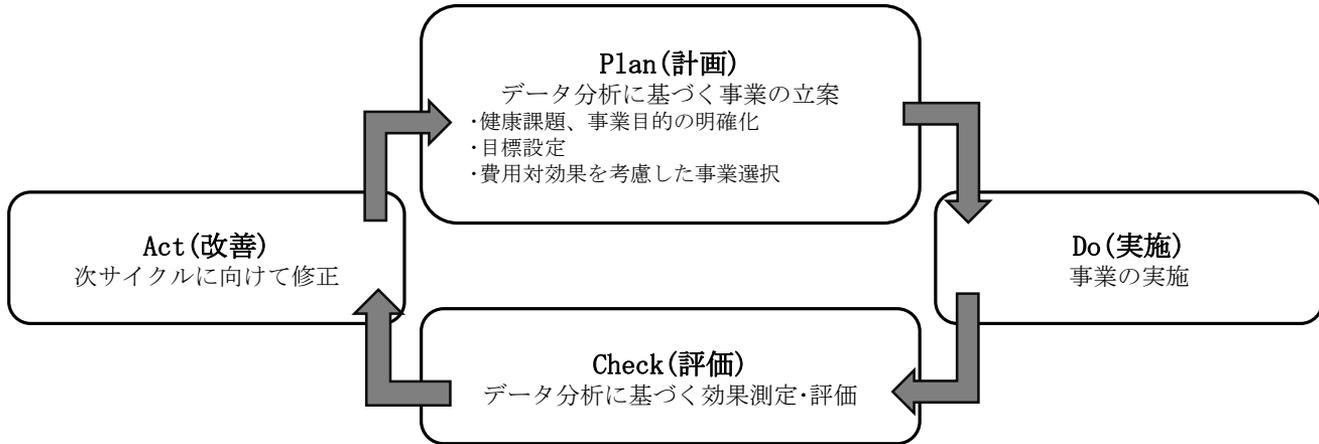
第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととします。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととします。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとします。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表する。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとします。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組むことが重要です。

参考資料1. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

参考資料2. 疾病分類表 (2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳癢孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		